

平成21年度  
青少年を取り巻く有害環境対策の推進  
青少年が利用するコミュニティサイトに関する実態調査  
報告書

平成22年3月

文部科学省

委託先：財団法人インターネット協会

## 目 次

1. 背景と目的.....	1
2. 調査内容.....	2
2. 1 調査の概要.....	2
3. 調査報告.....	4
3. 1 投稿者について.....	4
3. 2 注意を要する、問題のある投稿.....	5
3. 3 投稿分類（顔写真の掲載）.....	8
3. 4 投稿分類（違法・犯罪行為）.....	9
3. 5 投稿分類（いじめ・誹謗中傷）.....	11
3. 6 投稿分類（自傷・自殺）.....	12
3. 7 投稿分類（出会い行為）.....	15
3. 8 投稿分類（個人情報等の掲載）.....	17
3. 9 投稿分類（不適切行為）.....	21
3. 10 投稿時間帯.....	24
3. 11 サイト別の注意を要する、問題のある投稿.....	26
3. 12 サイト別の電話番号、メールアドレス等を掲載している投稿.....	27
4. 全体の考察及び提言.....	28

(付録)

調査結果 クロス集計結果

## 1. 背景と目的

企業活動や市民生活等の様々な分野でインターネットが急速に普及し、国民の誰もが、世界中の様々な情報に迅速かつ容易にアクセスできる環境が整備され、世界中の情報を検索、収集、閲覧するだけでなく、個人ユーザーの利用者でも、世界中に向けて、直接的に情報の発信ができる便利なツールとなっている。しかし、同時に、インターネットは違法・有害情報を広範囲に流通させることを可能にし、これらの情報が権利侵害、犯罪の助長、健全な青少年育成の阻害等の新たな社会問題を惹起している。

これら違法・有害情報をめぐる問題の深刻化、対応の緊急性に鑑み、平成21年4月より「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が施行された。本法律では、青少年のインターネット利用環境の整備のために、青少年のインターネットリテラシーの向上、青少年の有害情報の閲覧機会の最小化、民間主導、の3点を基本理念とし、関係機関はもとより、学校、地域、家庭が一体となった社会総がかりの取組がより一層求められている。

このため、全国規模の教育関係団体、青少年団体、PTA、メディア関連団体、有識者、行政機関等から構成される全国コンソーシアム「ネット安全安心全国推進会議」が、従来の枠組みを越え、団体間の全国横断的なネットワーク化を図るとともに、啓発活動の充実、インターネットの安全安心利用のための意識を醸成し、有害情報から子どもたちを守るため、安全に安心してインターネットを利用できるための環境作りを推進しており、リーフレットの作成や全国フォーラムの開催等の取組を行ってきたところである。

本調査においては、近年、掲示板や自己紹介サイト、ゲームサイト、SNS等のコミュニティ機能を利用した、男女間の「出会い」を第一の目的に掲げていないサイトを通じて青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれる事件が多発しており、青少年保護の観点から問題となっている。そこで、青少年が利用するいわゆるコミュニティサイト（利用者が作成、情報を投稿する事によって生成されるサイト）の利用実態を把握し、現実的な解決策を探った。

## 2. 調査内容

### 2.1 調査の概要

本調査にあたっては、「ネット安全安心全国推進会議」委員である千葉大学教育学部 准教授 藤川大祐 氏を中心に「ネット安全安心全国推進会議」委員の助言を得て、一般的な青少年が利用するコミュニティサイトを調査した。

#### ①調査範囲

青少年の利用者数が多いと思われる 20 サイト（そのリンク先）について調査を実施。

検出対象：平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月の調査時点までの投稿

6,158 件（複数の分類に関する投稿を含めると 7,627 件）

注意を要する投稿、問題のある投稿のみを検出

※注意を要する投稿：学校名、バイト先名のみなど、個人が特定できないであろう個人情報等、青少年以外への中傷、暴言、飲酒や喫煙行為に関する告白等

※問題のある投稿：メールアドレス、電話番号など青少年と直接連絡が取れる個人情報等、出会いを誘引する書き込み、いじめ、自殺、自傷の告白等

調査件数：期間中約 10 万件の投稿を確認

※パスワードで閲覧が制限されているサイトは除く

#### ②調査方法

携帯電話・パソコンより対象サイト内の検索フォームや検索エンジンを用いてキーワード検索を実施。

#### ③青少年による書き込みの発見方法

青少年による書き込みを発見するために、下記のキーワードで検索を実施。

- ・「年、組」など学年とクラスを表す言葉
- ・「10～18 歳」など年齢を表す言葉

#### ④問題のある書き込みの発見方法

青少年による書き込みの中から、下記のキーワード例で絞込み検索を実施

- ・「@、090、080」などメールアドレスや電話番号を表す言葉
- ・「お酒、たばこ、嗜好品」など飲酒喫煙を表す言葉
- ・「うざい、キモい、死ね、殺す」など誹謗中傷、イジメを表す言葉
- ・「死にたい、リストカット、アームカット」など自傷自殺を表す言葉

- ・「助けて、サポート、諭吉、¥」など援助交際を表す言葉
- ・「家出、泊めて」など家出を表す言葉
- ・「絡んで、彼氏彼女募集」など出会い行為を表す言葉

### 3. 調査報告

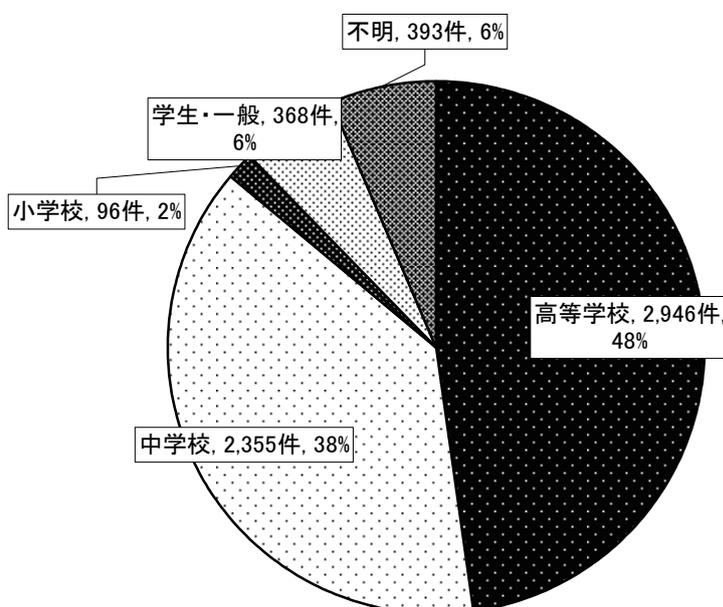
#### 3. 1 投稿者について

##### 3. 1. 1 投稿者の学校種別

高等学校生徒の投稿が半数近くの2,946件、48%を占め、次いで中学校生徒の投稿が2,355件、38%を占める結果となった。

※年齢の記載がなく、学年、学校が書かれている投稿が多数あったため、学校種別とした

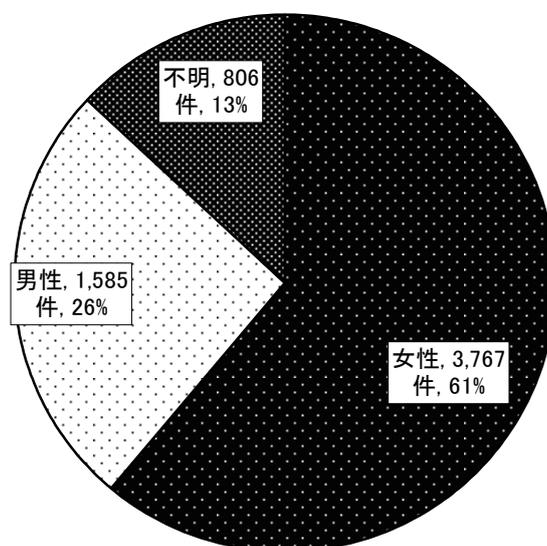
図 1 投稿者の学校種別



##### 3. 1. 2 投稿者の性別

今回調査したプロフィールサイトの利用率は女性の方が高く、女性の投稿が3,767件、61%を占めた。

図 2 投稿者の性別

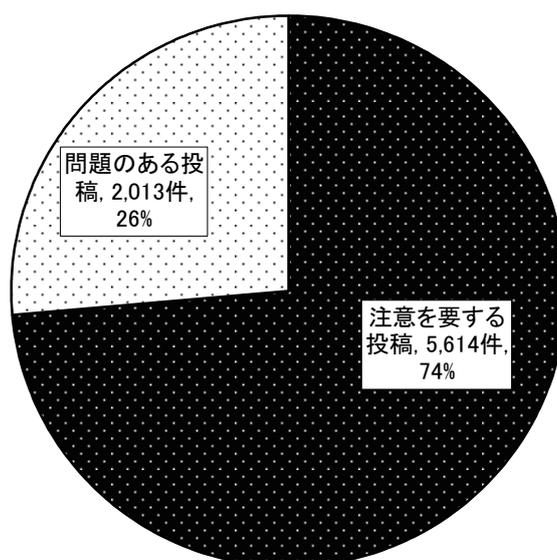


### 3. 2 注意を要する、問題のある投稿

検出された投稿のうち、問題のある投稿は2,013件、26%に上った。

注意を要する投稿の内容としては、飲酒喫煙、メール・電話番号以外の個人情報、青少年以外（教職員や家族等の）への中傷、暴言などが含まれる。

図 3 注意を要する、問題のある投稿  
(複数の分類に該当する投稿を含む)

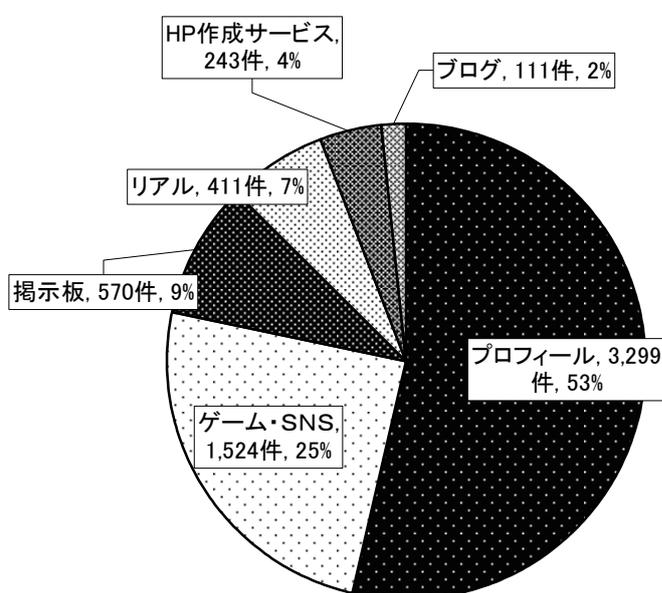


### 3. 2. 1 注意を要する、問題のある投稿のサイト種別について

プロフィールサイトが最も多く 3,299 件、53%、次いでゲーム・SNS 系コンテンツ 1,524 件、25%、掲示板 570 件、9%と続いた。

プロフィールサイトに注意を要する、問題のある投稿が多い原因として、名前・年齢・住所から好きな食べ物やタレントまで、個人情報等を含む多数の項目の雛形が用意され書き込むこと、自分だけのページ、仲間内だけにしか教えていないページという間違った理解で、安心してプライベートな事まで書いてしまうケースが考えられる。

図 4 注意を要する、問題のある投稿のサイト種別



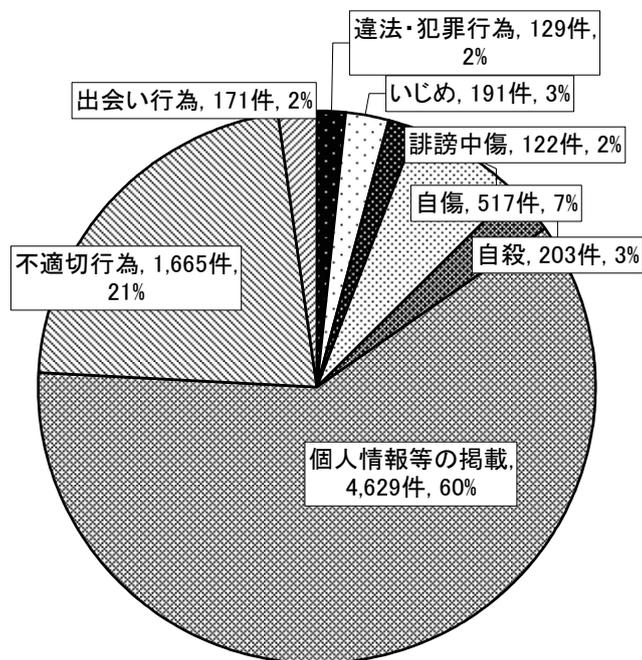
### 3. 2. 2 注意を要する、問題のある投稿の内訳

個人情報等の掲載が最も多く 4,629 件、60%、次いで不適切な行為 1,665 件、21%の順となった。

※個人情報等の掲載：自己紹介として個人が特定され得る情報を公開

※不適切行為：飲酒や喫煙行為に関する告白

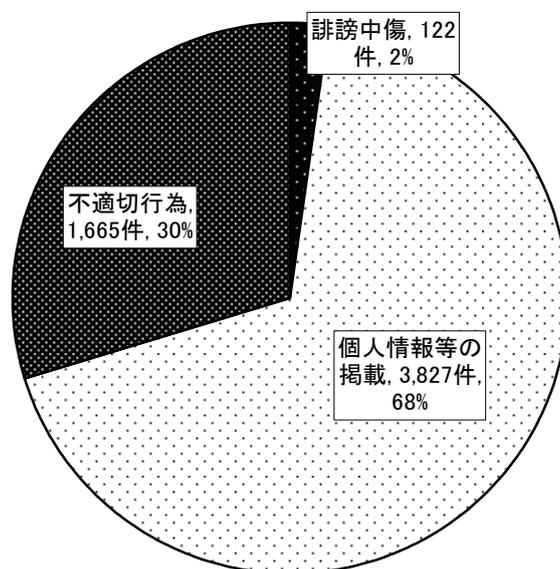
図 5 注意を要する、問題のある投稿の内訳  
(複数の分類に該当する投稿を含む)



### 3. 2. 2. 1 注意を要する投稿の内訳

注意を要する投稿の内、個人情報等の掲載が最も多く 3,827 件、68%という結果になった。

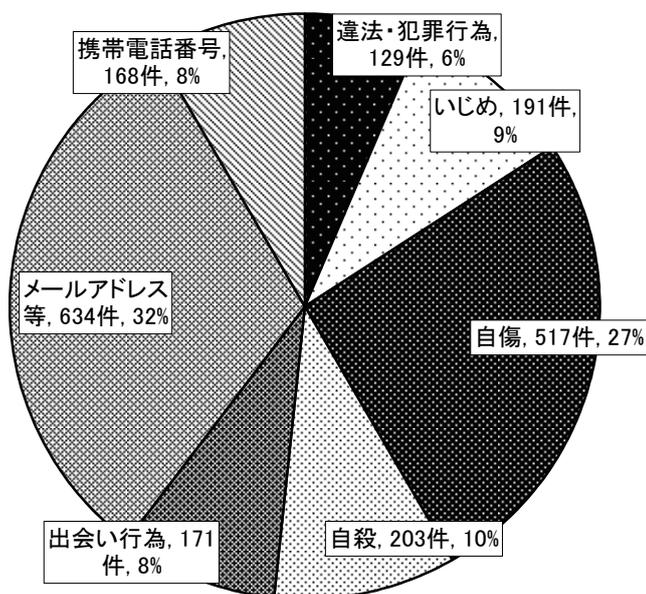
図 6 注意を要する投稿の内訳  
(複数の分類に該当する投稿を含む)



### 3. 2. 2. 2 問題のある投稿の内訳

問題のある投稿の内、青少年個人に直接連絡が可能なメールアドレス、電話番号の掲載が合わせて 802 件、40%と最も多く、次いで自傷・自殺関連で 720 件、37%という結果になった。

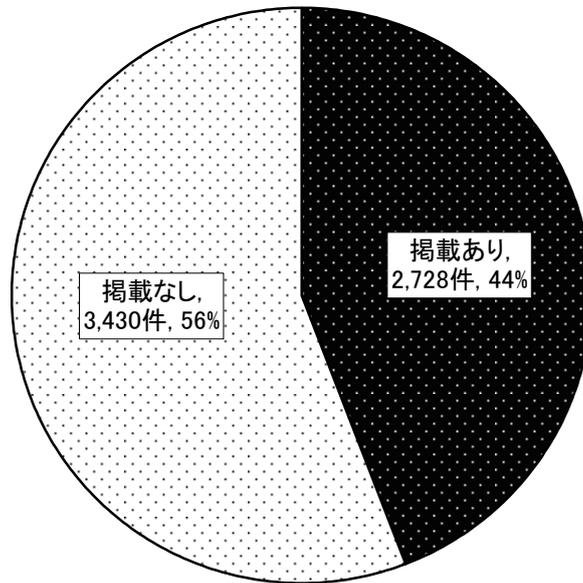
図 7 問題のある投稿の内訳  
(複数の分類に該当する投稿を含む)



### 3. 3 投稿分類（顔写真の掲載）

多くの青少年がプロフィールサイトなどでプリクラ画像等、自分の顔写真を掲載しており、友人や恋人と写っているものも見られた。その他、問題行為として、缶チューハイや居酒屋での集合写真、喫煙している写真、自傷行為を撮影した画像なども 35 件見られた。

図 8 個人情報の投稿（顔写真の掲載）



### 3. 4 投稿分類（違法・犯罪行為）

喧嘩による傷害、万引きなどの窃盗が多い。

真偽は明らかではないが、大麻、覚せい剤の使用経験、販売していることを示唆する投稿も見られた。

図 9 投稿分類（違法・犯罪行為）  
（複数の分類に該当する投稿を含む）

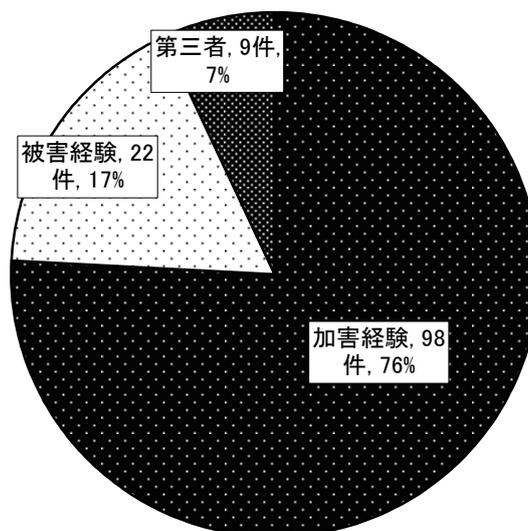


図 10 違法・犯罪行為投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)



【名前】 〇〇太  
 【性別】 男性  
 【年齢】 17歳  
 【住み家】 東京都板橋区  
 【職業】 学生とアルバイト  
 【警察にお世話になった事】  
 1回はチャリ窃盗  
 2回目は無免w  
 【メールアドレス】  
 とりま掲示板きて  
 身長 172cm  
 →掲示板← ここ

図 11 違法・犯罪行為投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)



とら蔵のプロフ詳細  
 最終更新日:2010/12/13  
 心からの一問一答  
 高校時代の思い出  
 ㄥマリファナ生産&販売&逮捕・喧嘩・補導×無限大・警察の調書が3冊に到達w

### 3. 5 投稿分類 (いじめ・誹謗中傷)

いじめや喧嘩などのトラブルが、実社会とインターネット上の両方で関連しながら行われているケースが見られた。

図 12 投稿分類 (いじめ・誹謗中傷)  
(複数の分類に該当する投稿を含む)

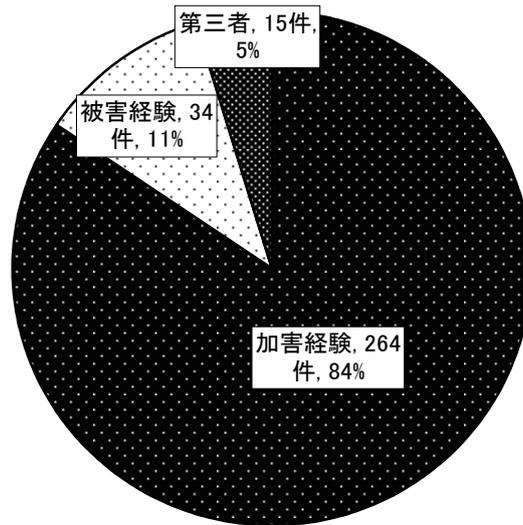


図 13 いじめ投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)

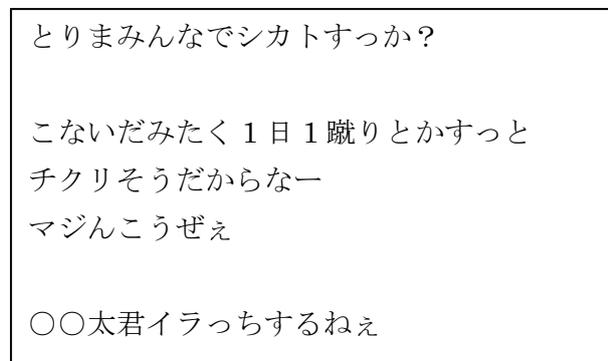
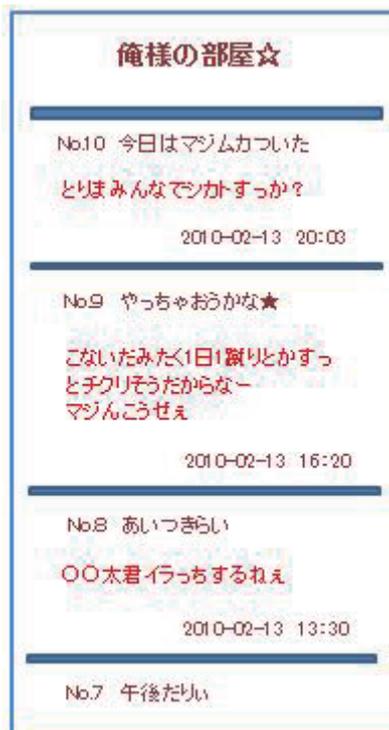
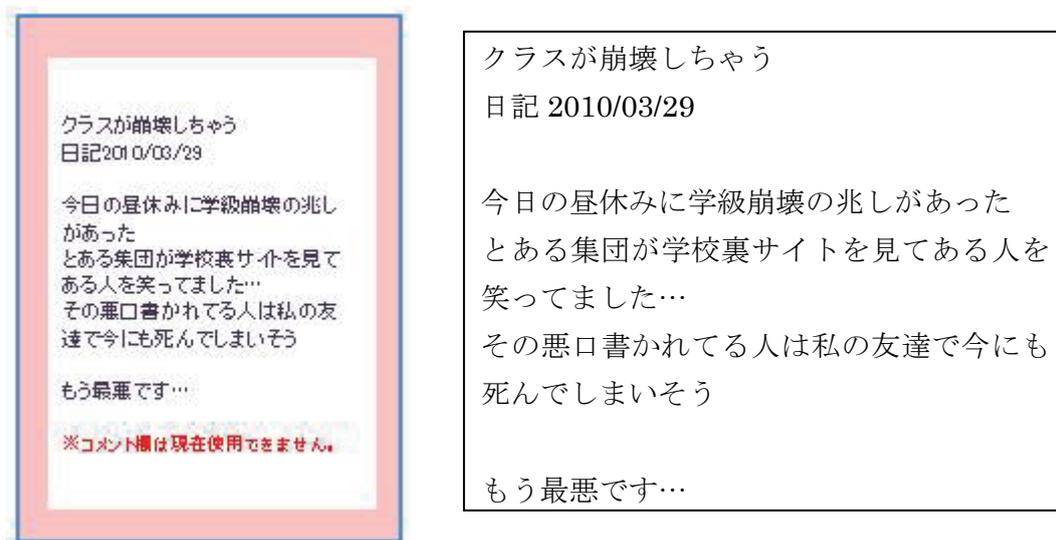


図 14 いじめ投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)



### 3. 6 投稿分類 (自傷・自殺)

自傷行為、自殺願望を告白しているケースが多く、リストカットの画像を掲載するなど、今後、行動がエスカレートしていく危険性が感じられる投稿もあった。

図 15 投稿分類 (自傷・自殺)  
(複数の分類に該当する投稿を含む)

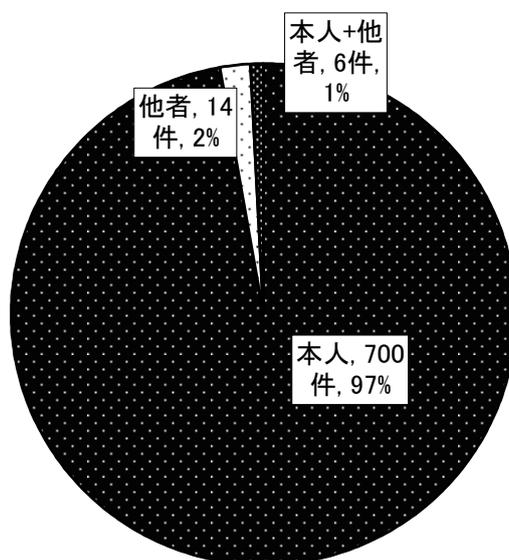
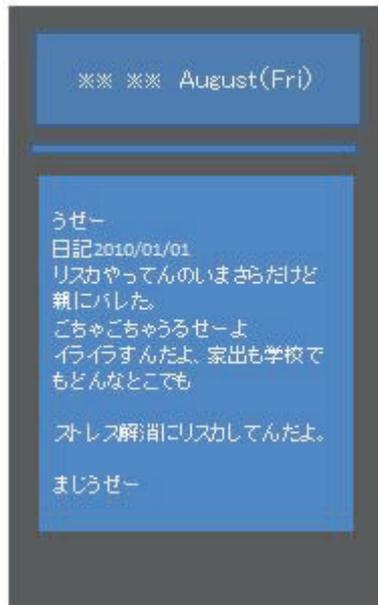


図 16 自傷投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)



うぜー  
日記 2010/01/01  
リスカやってんのいまさらだけど親にバレ  
た。  
ごちゃごちゃうるせーよ  
イライラすんだよ、家出も学校でもどんな  
ところでも

ストレス解消にリスカしてんだよ。

まじうぜー

図 17 自傷投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)

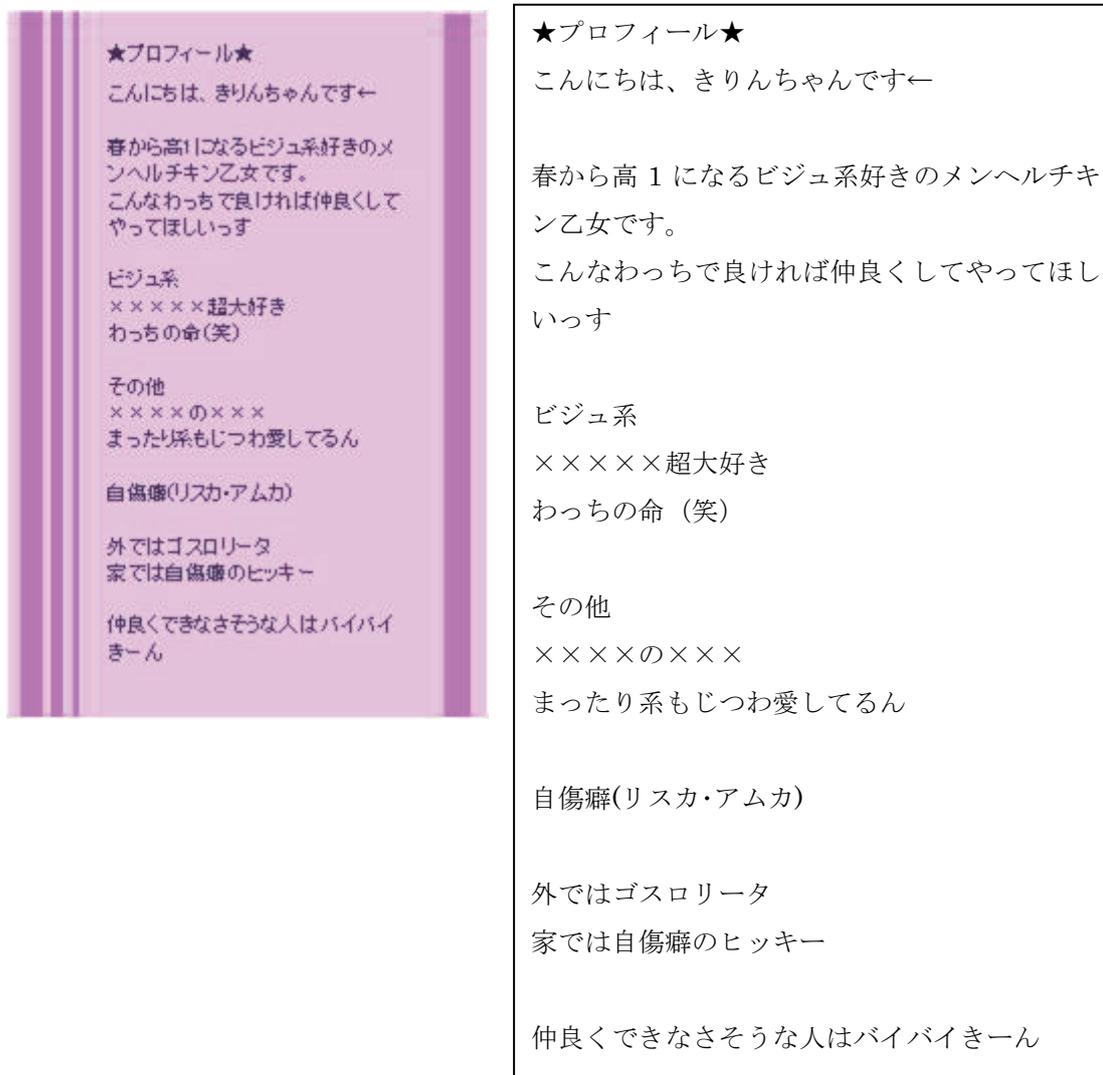


図 18 自殺投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)

<p>2009年12月24日 傷んでいます</p> <p>閲覧(56) コメント(18)</p> <p>2009年12月25日 助けてよ助けてよ助けてよ助けてよ助 けてよ助けてよ助けてよ助けてよ助 けてよ助けてよ助けてよ！！ もう嫌だよ… 苦しい… 死にたい… 誰か助けてよ…</p> <p>閲覧(3) コメント(1)</p>	<p>2009年12月24日 傷んでいます</p> <p>閲覧(56) コメント(18)</p> <p>2009年12月25日 助けてよ助けてよ助けてよ助けてよ助けて よ助けてよ助けてよ助けてよ助けてよ助 けてよ助けてよ！！ もう嫌だよ… 苦しい… 死にたい… 誰か助けてよ…</p> <p>閲覧(3) コメント(1)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3. 7 投稿分類 (出会い行為)

青少年が出会いを誘引している場合、メールアドレス、電話番号などの連絡先を同時に掲載している場合が多く見られた。

図 19 投稿分類 (出会い行為)  
(複数の分類に該当する投稿を含む)

対象	件数
誘引している	171件

図 20 出会い投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)

☺-----  
 彼氏スペシャル募集してるから男前全員メールしてきて・・  
 ▲▲▲@▲▲▲▲▲▲▲▲  
 絶対100%返事返すから・・  
 ☺-----

★名前・みお

★性別・おとこにウレキタカッ

★年齢・高3の17サイ まだまだ若いか 加

★住所・埼玉県 おおみやーん

★生年月日・3ガツ3カ ひな祭り～

★血液型・Aガッガッガッ

★星座・オサカ座

★趣味・ダンス… トクヰャナイト 教えてくれる男前大歓ケイ

★将来の夢・最愛のガビ〜と結婚(ハート)

☺-----  
 彼氏スペシャル募集してるから男前全員メールしてきて・・  
 ▲▲▲@▲▲▲▲▲▲▲▲  
 絶対100%返事返すから・・  
 ☺-----

★名前・みお

★性別・おとこにウレキタカッ

★年齢・高3の17サイ まだまだ若いか 加

★住所・埼玉県 おおみやーん

★生年月日・3ガツ3カ ひな祭り～

★血液型・Aガッガッガッ

★星座・オサカ座

★趣味・ダンス… トクヰャナイト 教えてくれる男前大歓ケイ

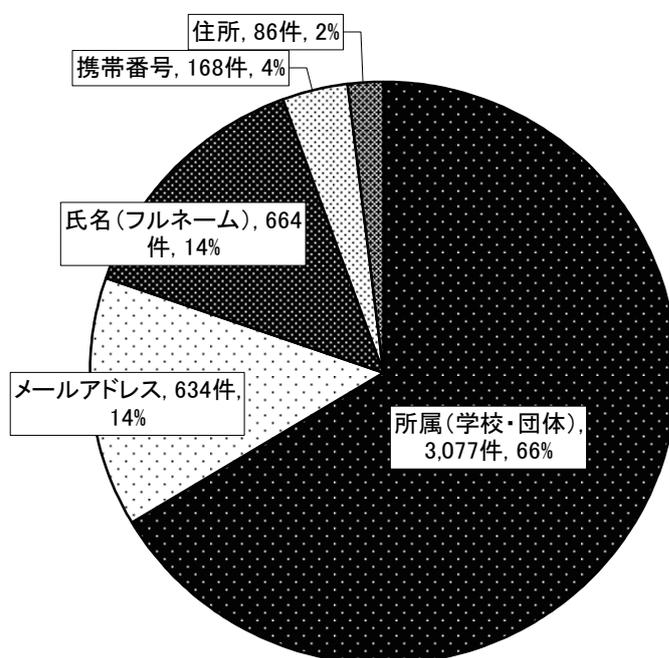
★将来の夢・最愛のガビ〜と結婚 (ハート)

### 3. 8 投稿分類（個人情報等の掲載）

学校、アルバイト先、クラス、部活などの所属を明らかにしている投稿が最も多く見られた。これらについては直接本人に連絡が取れる情報ではない為、問題は発生しにくいと思われるが、他に投稿されている情報を繋ぎ合わせることで個人を特定できる場合もあるので、注意が必要である。

その一方で直接本人に連絡がとれるメールアドレス、電話番号などを掲載するケースも 802 件, 18%検出された。

図 21 投稿分類（個人情報等の掲載）

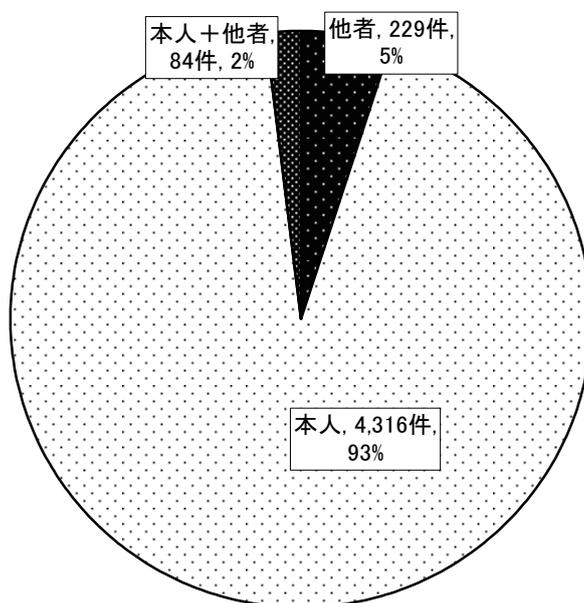


#### 3. 8. 1 投稿分類（個人情報等の掲載）

個人情報等の掲載のうち殆どが本人のもので 4,316 件, 91%であったが、一部ではいやがらせ目的で他人の個人情報を掲載するケースが見られた。

また、友達紹介として詳細な情報をプロフィールサイトやリンク集などに掲載してしまうケースが見られた。

図 22 投稿分類（個人情報等の掲載）



### 3. 8. 1. 1 投稿分類詳細（個人情報）

全般的に自分自身で公開をしている投稿が殆どを占める。

他者の氏名（フルネーム）を公開しているものに関してはプロフィールサイトやリンク集などで、友達を紹介している投稿が殆どだが、一部の掲示板などでは嫌いなクラスメートの名前をあげるなどのいじめに関連する投稿も見られた。

図 23 所属（学校・団体）の公開

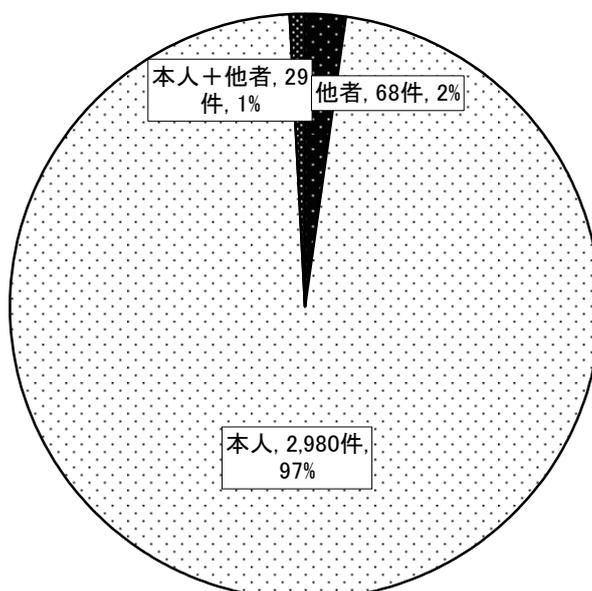


図 24 メールアドレスの公開

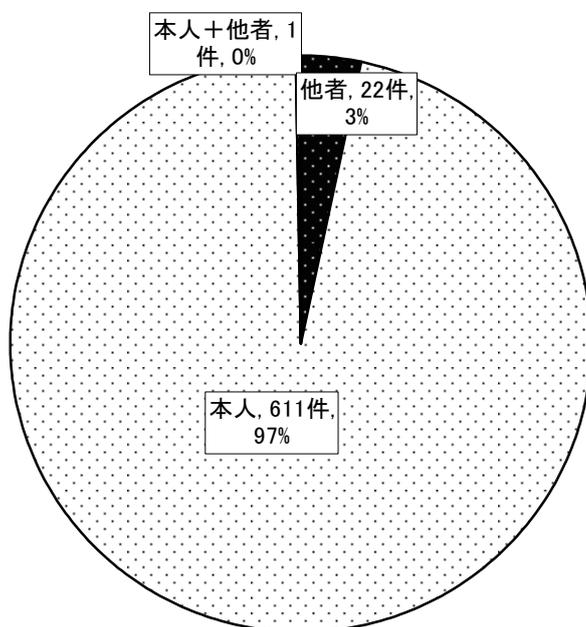


図 25 氏名（フルネーム）の公開

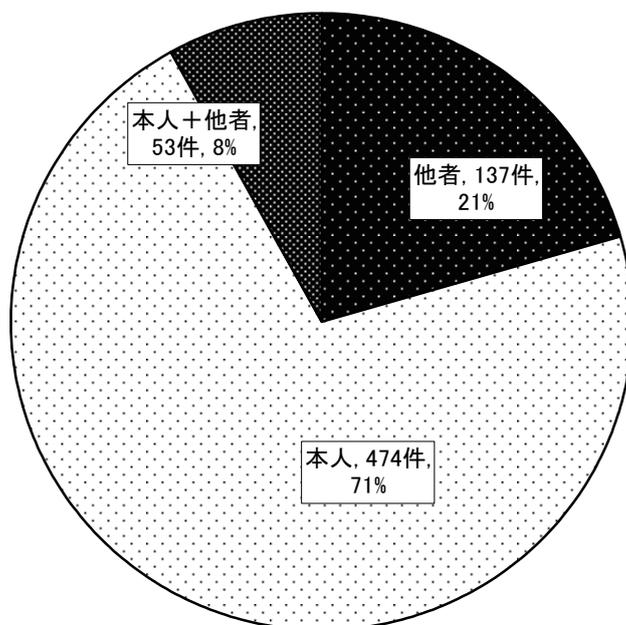


図 26 携帯電話番号の公開

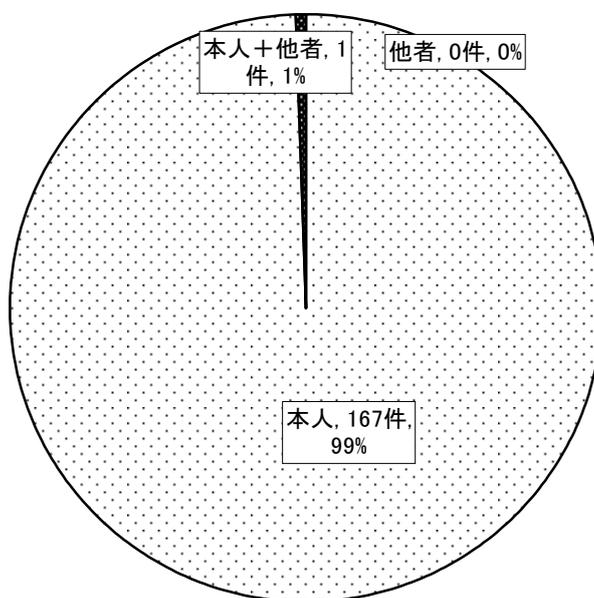


図 27 住所の公開

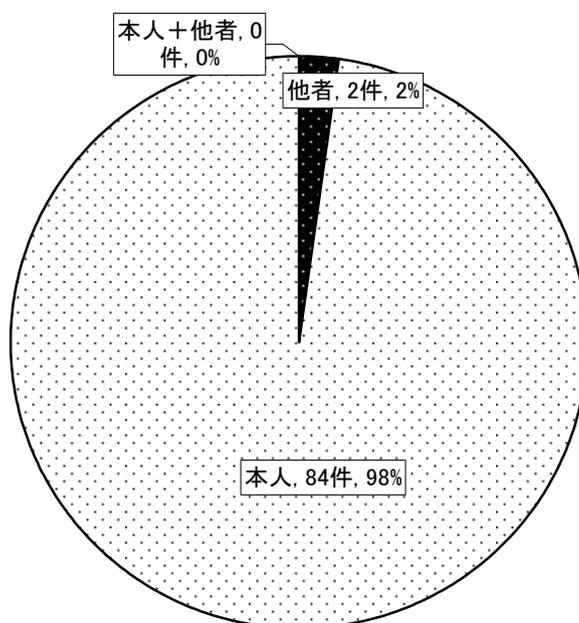


図 28 個人情報の掲載 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)

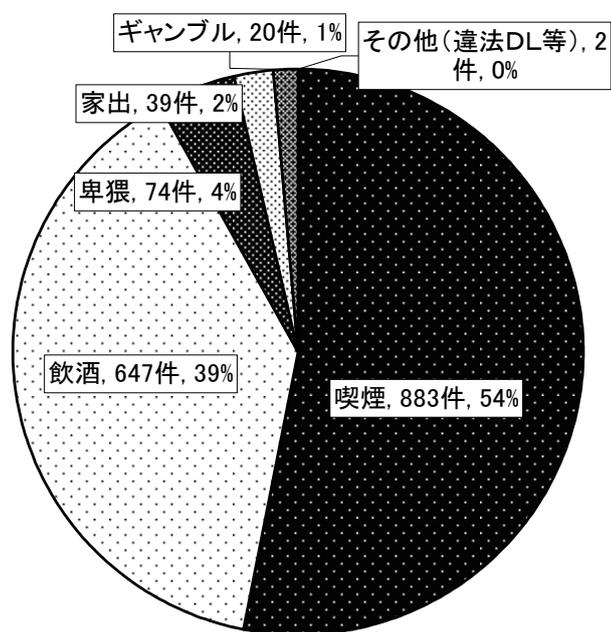
[HN]	あずみだよ	【HN】 あずみだよ
[性別]	おんなのこだよ	【性別】 おんなのこだよ
[地元]	▲▲▲だよ	【地元】 ▲▲▲だよ
[学年]	▲▲高校2年生だよ	【学年】 ▲▲高校2年生だよ
[身長]	142センチだよ	【身長】 142センチだよ
[体重]	ひみっだよ	【体重】 ひみっだよ
* WILLCOM WX340K 000-0000-0000 女子高生素通り厳禁だよ！ 絡んでなあ		* WILLCOM WX340K 000-0000-0000 女子高生素通り厳禁だよ！ 絡んでなあ

### 3. 9 投稿分類（不適切行為）

飲酒、喫煙を告白する投稿が全体の 1,530 件, 93%を占めた。

それ以外では、卑猥な投稿や、家出を示唆する内容、パチンコなどのギャンブル等に関するものが見られた。

図 29 投稿分類（不適切行為）



### 3. 9. 1 投稿分類（不適切行為）

不適切行為の殆どが本人によるものであった。本人+他者のケースは、「友達と一緒に起こった」という内容が該当する。

図 30 投稿分類（不適切行為）

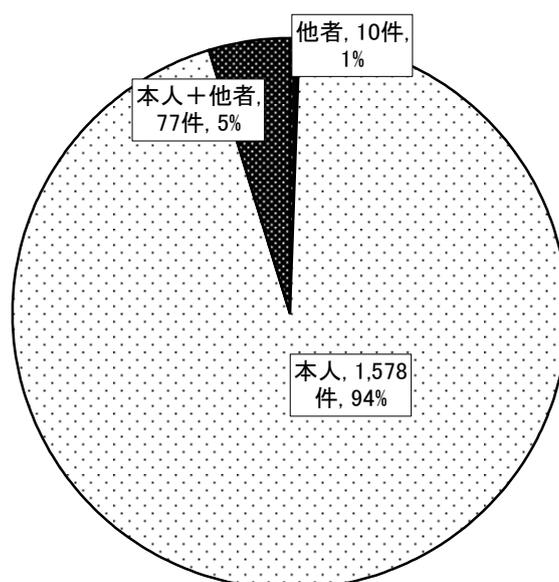
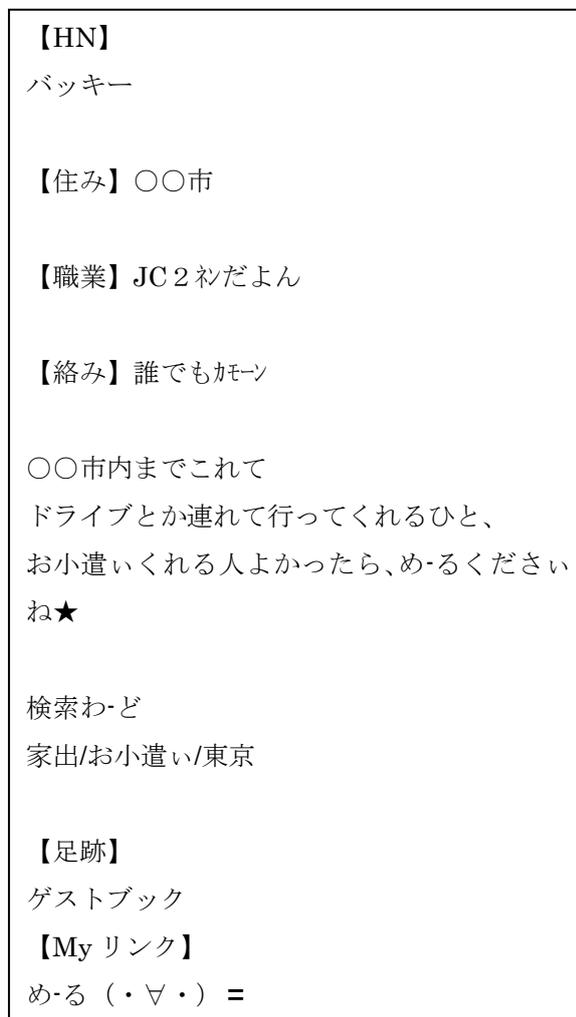
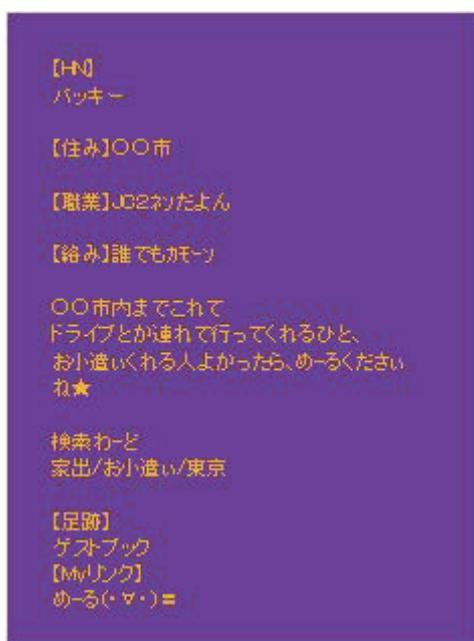


図 31 不適切行為投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)

<p><b>プロフィール</b></p> <p>稼げる仕事紹介しますよε(´Д´)</p> <p>稼げる夜の工作在りっぱい</p> <p>仕事はキャバとかいろいろあるよ</p> <p>1日でガッツリ稼げちゃう仕事もありますっ</p> <p>〇〇県の女の子限定です</p> <p>やる気がある娘なら 年とか関係なく大歓迎ですっ 未経験の娘も大歓迎だから安心してね</p> <p>友達と一緒にでも もちろんOK</p> <p>わからないこと質問などなど なんでも下のゲスブに 気軽にカキ子してねっ</p>	<p>稼げる仕事紹介しますよΣ (´Д´;)</p> <p>稼げる夜の工作在りっぱい</p> <p>仕事はキャバとかいろいろあるよ</p> <p>1日でガッツリ稼げちゃう仕事もありますっ</p> <p>〇〇県の女の子限定です</p> <p>やる気がある娘なら 年とか関係なく大歓迎ですっ 未経験の娘も大歓迎だから安心してね</p> <p>友達と一緒にでも もちろんOK</p> <p>わからないこと質問などなど なんでも下のゲスブに 気軽にカキ子してねっ</p> <p>パス付きなので安心です</p> <p><b>【検索】</b> 仕事 紹介 〇〇県 水商売 風俗 援</p> <p><b>My リンク集</b> 掲示板← ここ</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

図 32 不適切行為投稿 イメージ  
(実際の書き込みにもとづき作成した架空の投稿例)



### 3. 10 投稿時間帯

注意を要する投稿とそのうち問題のある投稿件数も類似した曲線となった。8 時台、12～13 時台に小さなピークがあり、それぞれ「起床から登校」、「昼休み前後」の書き込みと思われる。

15 時台から少しずつ書き込みが増え始め、21 時台に投稿のピークを迎える。ただし、「自傷」「不適切行為」については 21 時台よりもさらに遅い時間帯にピーク時間帯をむかえている傾向がみられる。

23 時から 0 時の間に急速に投稿が減少しているのは、殆どの青少年がこの時間に就寝するためと思われる。

※投稿時間帯が確認できる投稿のみ抽出

図 33 投稿時間帯

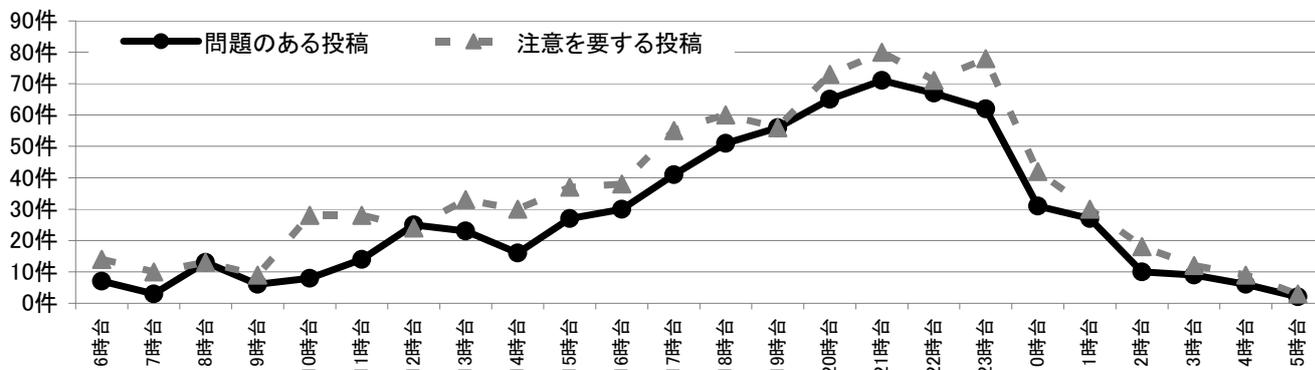
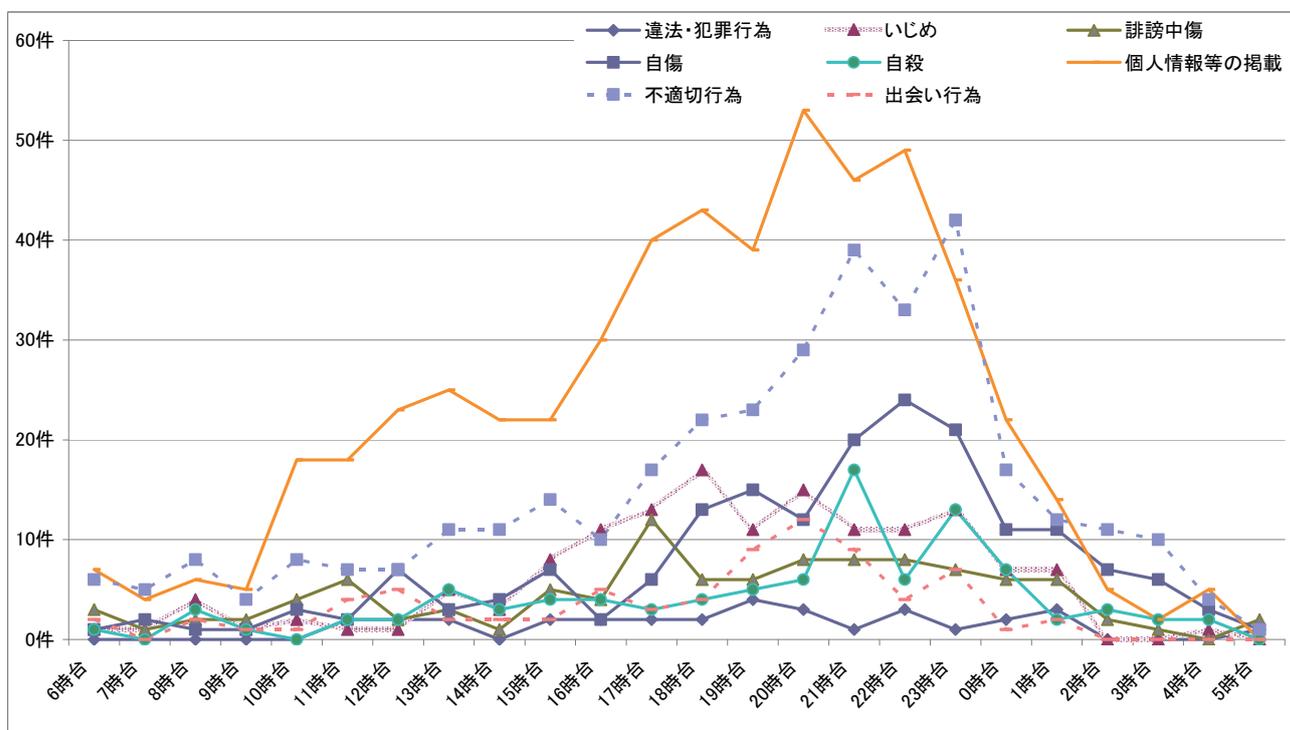


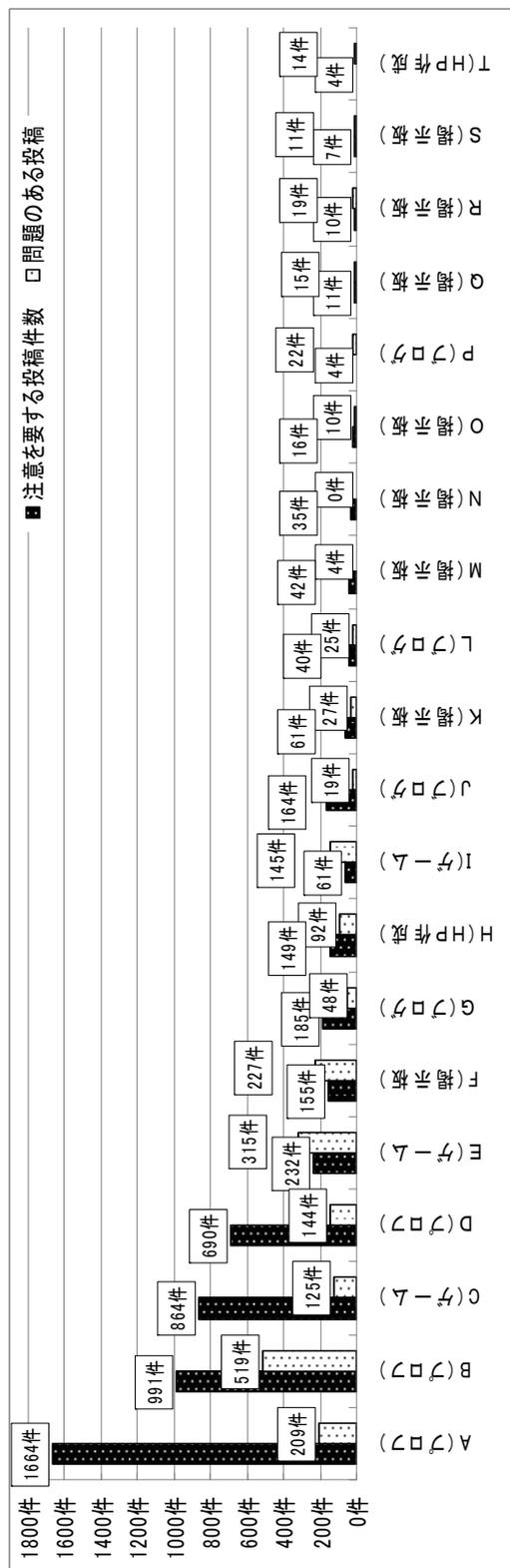
図 34 投稿時間帯 分類詳細



### 3. 1.1 サイト別の注意を要する、問題のある投稿

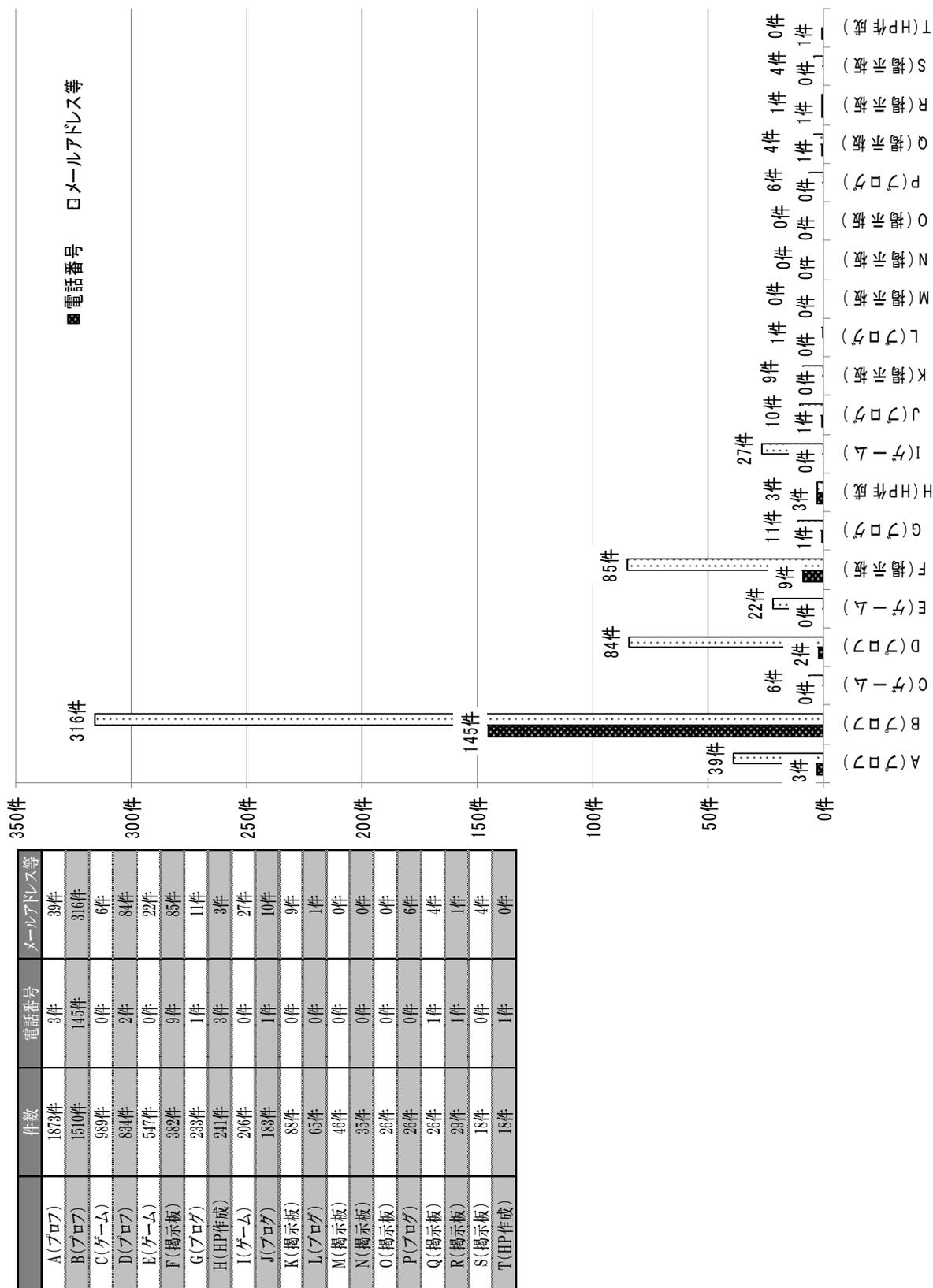
図 35 サイト別の注意を要する、問題のある投稿  
(上位 20 サイト)

サイト名	違法・犯罪行為	いじめ	誹謗中傷	自傷	自殺	個人情報等の掲載	不適切行為	出会い行為	合計件数	問題のある投稿
A(ブログ)	7件	1件	0件	143件	2件	1425件	281件	14件	1873件	209件
B(ブログ)	13件	0件	0件	1件	1件	1190件	262件	43件	1510件	519件
C(ゲーム)	45件	16件	12件	25件	32件	702件	156件	1件	989件	125件
D(ブログ)	25件	0件	1件	5件	1件	368件	407件	27件	834件	144件
E(ゲーム)	6件	4件	0件	204件	72件	221件	33件	7件	547件	315件
F(掲示板)	4件	53件	7件	0件	3件	161件	81件	73件	382件	227件
G(ブログ)	6件	14件	15件	13件	3件	65件	117件	0件	233件	48件
H(HP作成)	8件	7件	6件	32件	39件	75件	74件	0件	241件	92件
I(ゲーム)	7件	35件	5件	44件	31件	44件	39件	1件	206件	145件
J(ブログ)	2件	3件	4件	2件	1件	106件	65件	0件	183件	19件
K(掲示板)	2件	12件	52件	2件	0件	15件	3件	2件	88件	27件
L(ブログ)	0件	4件	0件	12件	7件	40件	1件	1件	65件	25件
M(掲示板)	2件	2件	8件	0件	0件	33件	1件	0件	46件	4件
N(掲示板)	0件	0件	0件	0件	0件	35件	0件	0件	35件	0件
O(掲示板)	0件	10件	8件	0件	0件	8件	0件	0件	26件	10件
P(ブログ)	0件	1件	0件	13件	2件	10件	0件	0件	26件	22件
Q(掲示板)	0件	8件	1件	0件	1件	15件	0件	1件	26件	15件
R(掲示板)	0件	17件	0件	0件	0件	12件	0件	0件	29件	19件
S(掲示板)	1件	2件	1件	3件	1件	10件	0件	0件	18件	11件
T(HP作成)	0件	1件	0件	7件	5件	3件	2件	0件	18件	14件



### 3. 1.2 サイト別の電話番号、メールアドレス等を掲載している投稿

図 36 サイト別の電話番号、メールアドレス等を掲載している投稿  
(上位 20 サイト)



#### 4. 全体の考察及び提言

以下、全体の考察及び提言については、千葉大学教育学部 准教授 藤川大祐氏執筆によるもの。

##### (1) 全体の傾向について

まず、本調査の結果における全体の傾向について考察しよう。

##### ①サイトの種類の変化

平成 20 年 4 月、文部科学省は「青少年が利用する学校非公式サイト（匿名掲示板）等に関する調査について（概要）」を発表した。この調査では、青少年が利用する学校非公式サイトが 38,260 件確認された。そして、その中の約 2,000 件を調査したところ、書き込み内容に以下の問題があることが明らかになった。

- i. 「キモイ」、「うざい」等の誹謗・中傷の 32 語が含まれる…50 パーセント
- ii. 性器の俗称などわいせつな 12 語が含まれる…37 パーセント
- iii. 「死ね」、「消えろ」、「殺す」等暴力を誘発する 20 語が含まれる…27 パーセント

この調査で確認された学校非公式サイトのお大半は、スレッド型学校非公式サイトであった (38,260 件、全体の 87.6%)。「スレッド型」とは、「2ちゃんねる」等の大きな掲示板の中で、テーマごとに「スレッド」と呼ばれるまとまりで投稿が読み書きできるものである。

こうした学校非公式サイトは「学校裏サイト」として広く知られるようになり、この種のサイトを学校や教育委員会が監視して指導したり、この種のサイトの利用についての注意が児童生徒に対して促されることが多くなった。そうしたことの結果、最近では青少年が学校の話題について公開のスレッド型掲示板等へ書き込むことが避けられるようになり、青少年による学校の話題についての交流は非公開の掲示板や他の種類のサイトに移行していると考えられる。

本調査は、こうした傾向を裏付けるものとなった。注意を要する投稿や問題のある投稿が確認されたサイトの種類を見ると、掲示板型のサイトが 9%を占めるにとどまり、プロフィール・サイト（プロフ）が 53%、ゲーム・SNSが 25%を占めている（図 4 注意を要する、問題のある投稿のサイト種別）。平成 20 年の調査とは内容も方法も異なるため慎重に比較する必要があるが、本調査の

結果は、青少年によって注意を要する投稿や問題のある投稿がなされる場所の中心が、掲示板からプロフやSNSへと移行していることを示している。

掲示板（特にスレッド型）とプロフやSNSとの間には重要な違いがある。それは、前者と比較すると後者の方が匿名性が低いということである。いずれの種類サイトでも、基本的に青少年は匿名で投稿している。しかし、掲示板では基本的にその都度投稿者名（ハンドルネーム）を入れる（特に名前を入れない場合も多い）のに対して、プロフやSNSでは特定個人のページが設けられており投稿者が別の部分でどのような投稿をしているかをたどることが容易である。すなわち、プロフやSNSでは、サイト内ではある程度確立した人格が成立し、学校等での知り合いが何を書いているかがたどりやすいという特徴がある。こうした違いがあるため、プロフやSNSでは掲示板とは異なる種類の問題が生じる可能性があることに注意が必要である。

## ②投稿件数や投稿者の年齢層

18歳未満の青少年でインターネット接続可能な携帯電話を所持している者の数は、年齢別人口や携帯電話利用率等から推計して700万人～800万人程度と推測される。人気の高いサイトの会員数や投稿数を踏まえても、青少年が調査対象期間の3ヶ月間に行った投稿は少なく見積もっても数億件にのぼる。この中で、注意を要する投稿や問題のある投稿が合計7,627件発見されたことになる。この件数をどのようにとらえればよいであろうか。

まず言えることは、2年前に38,260件の学校非公式サイトが確認されていて、その半数程度には何らかの意味で問題のある表現が見られたことを考えれば、掲示板からプロフやSNSに移行したと言っても、注意を要する投稿や問題のある投稿が増えているとは言えない。

**注意を要する投稿や問題のある投稿の数は利用者数や投稿数を考えれば、決して多いとは言えず、大半の青少年が適切にコミュニティサイトを利用していることがうかがわれる。**

ただし、以上のことからただちに、青少年のコミュニティサイト利用の状況を楽観視してよいということにはならない。インターネットへはいつでもどこからでもアクセスが可能な上、投稿内容や投稿者の属性を検索し、悪意ある者が青少年にメッセージを送ることが容易であるからである。たとえ注意を要する投稿や問題のある投稿の数があまり多くないとしても、この種の投稿を探す者によって探し当てられる可能性は高いと考えられる。青少年のコミュニティサイト利用について詳細に検討し、今後も必要な対策を進めていく必要がある。

なお、注意を要する投稿や問題のある投稿の多くが高校生もしくは中学生に

よるものであり、小学生とわかる投稿が 96 件（図 1 投稿者の学校種別）にとどまったことにも注目しておく必要がある。このことから現状では小学生がコミュニティサイトで注意を要する投稿や問題のある投稿をすることはきわめて例外的であり、小学生に関しては現に起こっている問題に対処するというだけでなく、中学生以降で問題が生じないように予防的措置をとるという発想で対応していくことが望ましいことが示唆されている。

## （2）内容別の考察

次に、注意を要する投稿や問題のある投稿に関して、主な内容ごとに結果を考察しよう。

### ①連絡先の掲載と出会い行為誘引

本調査では、携帯電話番号を掲載している投稿が 168 件、メールアドレス等（他のサイトの ID 等を含む）を掲載している投稿が 634 件確認された（図 7 問題のある投稿の内訳）。また、出会いを誘引している投稿が 171 件確認されている（携帯電話番号掲載との重複が 28 件、メールアドレス等掲載との重複が 56 件）（図 19 投稿分類（出会い行為））。件数は決して多いとは言えないが、コミュニティサイトが不適切な出会いにつながりうることが確認された。

ただし、こうした投稿の件数がサイトによって大きく異なることに注意が必要である。

まず、携帯電話番号に関しては、確認されたものの 86.3%がプロフサイト B に掲載されたものであり、他のサイトへの掲載は非常に少ない。メールアドレス等の掲載に関しては、やはりプロフサイト B が 49.8%を占めており、掲示板サイト F、プロフサイト D、プロフサイト A が多いが、他のサイトでは非常に少ない（図 36 サイト別の電話番号、メールアドレス等を掲載している投稿）。

また、出会い行為誘引を含む投稿に関しては、掲示板サイト F が 42.7%と非常に多く、プロフサイト B、プロフサイト D、プロフサイト A で多いが、他のサイトでは非常に少ない（図 35 サイト別の注意を要する、問題のある投稿）。

すなわち、青少年が連絡先を掲載したり出会い行為を誘引していたりする投稿が一定以上多いサイトは、ごく限られていることがわかる。特に、プロフ型のいくつかのサイトと掲示板型の特定のサイトで、こうした投稿が多いことが明らかになった。特に、プロフサイト B では、携帯電話番号及びメールアドレスが掲載され、しかも出会い行為誘引が含まれる投稿が 26 件確認されており、児童買春や淫行に直接結びつく状況が放置されていると言える。このサイトは

特定の地方で特に人気が高いサイトであるが、このサイトに連絡先や出会い行為誘引を含む投稿が多いため、問題のある投稿すべてを地域別に集計しても、このサイトがよく使われている地域で突出して多い。

特定のサイトのみで連絡先や出会い行為誘引を含む投稿が多い背景として、次の二つのことが考えられる。

第一に、サイト側による監視の影響が大きく、監視が不徹底なサイトで連絡先や出会い行為誘引を含む投稿が多いと考えられる。平成 19 年頃から、青少年に人気の高いコミュニティサイトのいくつかが青少年が安全に利用できる環境を守る目的で、規約で連絡先の記入や出会いを誘引することを禁止し、違反した投稿に対しては、発言者を注意したり発言削除や退会等の対応をしたりしている。平成 20 年には第三者機関であるモバイルコンテンツ審査運用・監視機構（EMA）が発足し、コミュニティサイトの管理運営に関する基準を定め、基準を満たしているサイトを認定する制度を設けている。青少年に人気の高い主要な SNS は早くから EMA の認定を受けているが、人気の高いプロフや掲示板では EMA の認定を受けているところは本調査時点で皆無である（もちろん EMA 認定を受けていなくても監視に力を入れているサイトはある）。監視のあり方の違いが、連絡先や出会い行為誘引を含む投稿の多少に大きく影響を与えている可能性が高い。

第二に、サイトの種類によって、外から見た掲載内容が異なることが考えられる。今回の調査は、一般利用者やサイトの一般会員が見える範囲の投稿のみを対象としており、限られた利用者しか読み書きのできないものや非公開の個人間のやりとりは対象から外れている。今回対象になったプロフや掲示板は基本的にすべてが公開されているのに対し、SNS では「ミニメール」等と呼ばれる非公開の個人間でのメッセージ送信機能がある。特定の相手に連絡先を伝えようとする者は、プロフや掲示板では公開の場にかざるをえないが、SNS ではある程度の信頼を築いてから個人間のメッセージで連絡することができる。出会い誘引に関しても、個人間のやりとりの中でなされる可能性がある。

以上より、監視が徹底されていないプロフや掲示板があり、一般の利用者が検索して見える形で青少年の連絡先や出会い行為誘引の投稿が放置されていることと、監視が徹底されている SNS では少なくとも一般の利用者が見える形では連絡先や出会い行為誘引の投稿がほとんど掲載されていないことが明らかになった。

## ②顔写真の掲載

今回の調査では顔写真が掲載されている者を特に抽出することはしていない

が、抽出された投稿の 4 割以上に顔写真が掲載されていた（図 8 個人情報の投稿（顔写真の掲載））。プロフィールにおいて特に顔写真の掲載が多く見られたほか、SNS や掲示板においても顔写真の掲載が見られた。

携帯電話の普及以前から、青少年（特に女子）の間では、プリクラ等で撮影した写真を手帳に貼って見せ合う等、写真を共通の思い出として見せ合う行為が広がっていた。携帯電話が普及し、携帯電話にカメラが搭載され、プリクラからも携帯電話に写真を転送できるようになる等、最近ではさらに青少年が自分たちの写真を扱いやすくなっている。また、同じ学校の関係者等に自分のことを知ってもらおうとして写真を自分のページに載せたいと考える者も多いと考えられる。

他方、インターネットで写真を公開すれば、悪用される可能性が生じる。写真を見てつきまとう者が出てくる、写真を別のサイトに転載して中傷する、加工してアダルトサイトに掲載する等が考えられる。友人とともに写っている写真を掲載する者もあり、この場合には知らない間に写真が公開され、トラブルに遭う可能性もある。

また、顔写真が携帯電話番号やメールアドレス等とともに掲載されていれば、悪意ある者から呼び出されて事件に遭う危険性が非常に高くなる。プロフィール B では、携帯電話番号掲載投稿 145 件中 124 件、メールアドレス等掲載投稿 316 件中 255 件、出会い行為誘引投稿 43 件中 31 件で顔写真が掲載されており、問題ある投稿への顔写真掲載が突出して多い。プロフィール A やプロフィール D でも、メールアドレス等掲載投稿で顔写真も掲載されているものが少なからず見られ、プロフィールにおける顔写真掲載が危険な形でなされていることがわかる。

危険性を理解し、十分な対策が検討された上での顔写真の掲載であれば、必ずしも否定される必要はないであろう。横顔やおかしな表情の写真を載せ、周囲の者には誰だかわかっても悪用はされにくくして写真を掲載している者もいる。しかし、**危険性を理解せず無防備に写真を掲載する者や、連絡先や出会い行為誘引とともに顔写真を掲載する者については、それらを放置するわけにはいかない。**一部のプロフィールでは、写真を掲載する画面で、写真掲載の場合の危険性について警告を掲載する措置をとっている。このような措置で十分かどうかについてはさらに検討の必要があるが、青少年が不適切に顔写真を掲載することを抑止していかなければならない。

### ③いじめ、誹謗中傷

いじめに関わる投稿、誹謗中傷を含む投稿とも、確認できた件数は 100 件台

であり（図 5 注意を要する、問題のある投稿の内訳）、決して多い数とは言えない。「ネット上のいじめ」に関する指導が進んだり、中傷発言で逮捕・補導されることがあることが知られたりして、少なくとも公開の場でいじめや誹謗中傷を含む投稿をしないということが定着しつつあることが考えられる。

しかしながら、これらの発言について、いくつかのサイトでやや数が多いことに注意しなければならない。連絡先や出会い行為誘引の投稿が多かった掲示板サイト F では、いじめに関わる投稿件数も他と比較して多い。また、誹謗中傷では、掲示板 K が半数近くを占めている。

個々の発言の深刻さの度合いはともかく、件数がある程度多いことは、サイトの雰囲気にならなくとも影響を及ぼしうる。すなわち、いじめや誹謗中傷を含む投稿が削除されずに放置されているサイトにおいては、こうした発言が許されると感じ、新たにいじめや誹謗中傷にかかわる投稿を行うことが促されかねない。

また、いじめに関する投稿については、たとえ内容が誹謗中傷でなくいじめをしているという報告だけであったとしても、そうした投稿がなされていることをいじめられた側の者が見れば大きな衝撃を受ける可能性が高いことに注意が必要である。いじめの対象が特定されていなくとも、自分がいじめられていることが公になることは、いじめられている側にとっては非常に辛いことでありうる。この点からも、いじめに関わる発言が放置されることは望ましくない。

#### ④自傷、自殺

自傷行為に関する内容を含む投稿が 517 件、自殺に関する内容を含む投稿が 203 件確認された（図 5 注意を要する、問題のある投稿の内訳）。これらの投稿は、連絡先や出会い行為誘引等の投稿がほとんど見られないサイトでも多く見られており、多くのサイトで特に削除の対象となっていないことがうかがわれる。

自傷、自殺ともに、SNS サイト E への掲載が他と比較して突出して多い。このサイトは、連絡先や出会い行為誘引等について徹底した監視を行っていると考えられることもあり、利用している青少年が安心して、学校や家庭では出せない自分の弱さや悩みを書きやすいと考えられる。

自傷行為や自殺は防止されなければならないが、そのことをもってこれらに関する投稿をしてはならないということにはならない。過去にリストカットをしたとか、死にたくて悩んでいるといったことを、しがらみの少ないネットの中で書くことによって、つらい状況から少しでも救われる者がいる可能性はあ

る。

他方、そのように弱みを見せている者が、悪意ある者に狙われる対象となる可能性に注目する必要がある。自傷や自殺について書く者の中には、他者から認められることを強く求めている者がいる可能性がある。そうした青少年に対して、優しく話を聞いて近づこうとする者がいたとき、青少年が実際に会おうとしたり、いったん信頼した相手から裏切られたと感じて深く傷ついたりといった事態に陥る危険性は高い。

青少年に人気の高いSNSの多くは監視が厳しいのであるが、にもかかわらずそうしたサイトを介して異性と出会おうとする者が少なくない。ネット上には、こうしたサイトで若い女性と会う方法を「攻略法」として掲載していたり、有料の情報商材として販売していたりするところさえ見られる。どのような条件の者が実際に会いやすいかに関する情報も出されており、自傷や自殺に関する投稿をしている者が悪意ある者によって狙われる可能性について注意が必要である。

#### ⑤違法・犯罪行為、不適切行為

今回の調査で、違法・犯罪行為に関する投稿が129件、飲酒や喫煙といった不適切行為に関する投稿が1,665件確認された（図5 注意を要する、問題のある投稿の内訳）。これらの掲載には突出して多いサイトは見られず、人気の高いサイトにはそれぞれある程度の件数見られる状況である。

こうした投稿は、それ自体が犯罪や非行を意味するというより、投稿以前に犯罪や非行と言える行為があるものである。このため、投稿自体はただちに削除されるべきものとは言い難く、多くのサイトが特に削除せずにいるものと考えられる。場合によっては、こうした投稿から学校や警察が問題を把握し、適切な対処につながることもありうるであろう。

しかしながら、こうした発言がなされることや放置されることには、当然問題がある。

第一に、サイトにこうした行為が多く書かれれば、閲覧する者たちに対して、青少年が飲酒、喫煙、万引き、暴力等の行動に走ることが珍しくない、特に悪いことではないという印象を与える可能性が高い。ひいては、こうした行為が助長されることになりかねない。

第二に、ネットで書かれたことは転載される等して記録されると考える必要があり、しかもプロフやSNSでの書き込みは書いた者を特定することが容易なので、こうした書き込みをもとに脅されたり、将来就職活動等の際に不当な不利益を被ったりする恐れがある。

違法・犯罪行為や不適切行為を含む投稿への対応については、今後も検討が必要である。

### (3) 問題防止の観点から

続いて、これまで社会問題として注目されてきた不適切な出会いに関わる問題と、ネット上のいじめや誹謗中傷に関する問題を特に取り上げ、問題防止のためにどのような認識が必要であるかを検討しよう。

#### ① 出会い行為に関して

インターネット上の出会い系サイトを介して青少年が児童買春や淫行といった福祉犯の被害に遭うことは、子どもの携帯電話利用に関わる主要な問題ととらえられてきた。最近、この状況に変化が見られる。

平成 20 年 12 月、出会い系サイト規制法による規制が厳しくなり、出会い系サイトを営む者には公安委員会への届け出が義務づけられ、運転免許証やクレジットカードによって利用者が 18 歳以上であることを確認することも義務づけられた。この結果、18 歳未満の者が出会い系サイトを利用することはかなり難しくなり、出会い系サイトに関する福祉犯事件認知件数は順調に減少している。

他方、プロフ、SNS といった出会い系サイト以外のコミュニティサイトが関係する福祉犯事件は従来から問題となっていたことに加え、出会い系サイトの規制が厳しくなったことの影響からか、認知件数が増える傾向にある。警察庁は、平成 20 年から非出会い系サイトに関する福祉犯件数を発表しており、平成 20 年から 21 年にかけては、出会い系サイトに関わる認知件数の減少数と相殺される程度に、非出会い系サイトに関する福祉犯事件の認知件数が増えている。

図 37 平成 21 年の出会い系/非出会い系サイトに関わる福祉犯の件数

平成21年の出会い系／非出会い系サイトに関わる福祉犯の件数(警察庁発表資料より作成、カッコ内は前年からの増減)		
	出会い系サイト関連	非出会い系サイト関連
児童買春	358 (-153)	297 (+132)
児童ポルノ	40 (- 30)	166 (-1)
育成条例違反	149 (-153)	803 (+182)
児童福祉法違反	81 (+9)	59 (+33)
重要犯罪	37 (-17)	22 (-2)

ただし、これをもって、インターネットが関係する福祉犯事件は減っていないと断ずるべきではない。そもそも犯罪の認知件数は警察が認知した件数であって、実際に起こった件数と同様に考えるべきではない。また、児童買春や重要犯罪が減少し、育成条例違反が増加する傾向から、法律違反の事案は減少していることにも注意が必要である。

育成条例違反の内訳については明らかにされていないが、淫行と深夜外出が中心であると考えられる。多くの地区で、成人が青少年と性交や性交類似行為を行うことや正当な理由なく深夜 11 時以降に青少年を外出させることを罰則付きで禁じており、こうした事例があたるようである。これらの中には児童買春等と同様に深刻な事例も相当数あるのかもしれないが、他方で我が子の男女交際が気に入らずに保護者が警察に訴えたり、三角関係のもつれから交際相手の浮気相手を訴えた事件も報じられており、インターネットに関わる深刻な事件とは言い難いものも含まれていると考えられる。

福祉犯被害防止のためのさまざまな取り組みは着実に進められており、状況は改善しつつある。しかしながら、今後さらに改善を進める余地が残されていることも事実だ。改善が必要と考えられる点を挙げていこう。

第一に、子どもが自らの年齢を偽ってサイトを利用し、事件に遭う可能性が残っている。今回は調査対象とはしていないが、青少年が出会い系サイトの利用を通じて福祉犯の被害に遭うことは、減っているとはいえ残っている。また、出会い系サイトに分類されていなくても、18 歳未満利用禁止をうたうサイトを通じて被害に遭う場合がある。これらに共通するのは、子どもが 18 歳以上と年齢を偽ってサイトを利用するという点である。また、18 歳未満の利用が認められているサイトにおいても、年齢が低い者については検索の対象から外す、

個人同士のメッセージの利用ができない等の措置をとっているサイトがあるが、こうしたところで年齢を偽って登録すれば危険性が増してしまう。

第二に、青少年に人気の高いサイトで、出会い行為につながる投稿への対応が不徹底のサイトがある。今回の調査では、プロフィールや掲示板の中に、携帯電話番号やメールアドレス等を掲載したり、出会い行為を誘引したりする投稿が見られ、顔写真を含むものも多かった。福祉犯を企てる者がこうしたサイトを利用する可能性は高いと考えられ、このようなサイトを利用する青少年が多いことは深刻な問題である。

第三に、監視が徹底していると考えられるサイトにおいても、青少年が福祉犯の被害に遭う可能性が全くないとは言えない。公開されている部分である程度仲良くなった後に、非公開の個人同士のメッセージで連絡先を交換して実際に会う可能性は否定できない。すでに述べたように、監視が徹底しているサイトに関しても、異性と出会う「攻略法」が出回っており、優しくして信頼関係を築いてから会うようにする等の方法が示されている。監視が徹底しているサイトが関連した事件も報じられており、まだ改善が必要である。すでに述べたが、監視が徹底しているSNSに自傷や自殺に関わる投稿が多く、こうした者が狙われる可能性があることから、自殺や自傷について書いた者への対応が検討されなくてはならない。

また、動画サイトで青少年がわいせつな動画を公開する等、新しい問題も起き始めている。認められたい青少年（特に女子）の中には、自らの性を使って認められようとする者がいると考える必要があり、従来のコミュニティサイトで対応が進めば、他の場所に問題が移る可能性がある。他方、福祉犯につながる行為が容易にできない状況になれば、福祉犯の件数を抑えられる可能性は高く、地道に対応を進めることを諦めるべきではない。

## ②いじめや誹謗中傷に関して

メールやサイト等によって特定の子どもの悪口や誹謗中傷を行うことは、「ネット上のいじめ」として注目され問題となってきた。

ネット上のいじめは、平成18年頃から新聞等で事件が報じられるようになり、平成19年には、メールや掲示板での誹謗中傷をしたとして逮捕・補導される事件が起こっている。いじめの様子を写真や動画で撮影し、それをサイトで公開した例もある。

しかしながら、平成20年以降、ネット上のいじめとして報じられる事件はあまり目立たなくなった。文部科学省による調査でも、平成19年度の5,899件と比較して20年度には4,527件とネット上のいじめの確認件数は減少している

(文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」平成19年度、平成20年度)。ネット上のいじめが注目され、学校においても指導が進められたことが大きいと考えられる。また、インターネットで悪いことを行えば警察が調べてすぐに発信者をつきとめることも理解され、青少年がネット上のいじめを避けていることも考えられる。

もちろん、いじめの問題は現在でも相変わらず深刻であり、ネットがいじめに使われることには警戒が必要である。実際に、中学生がいじめについてサイト上で相談していたことが深刻ないじめにつながった事例も報告されており、誹謗中傷とは言えない投稿でさえ、いじめにつながることもある。今回の調査で「いじめ」と分類された投稿でも、「死ねばいいのに」「殺す」といった断片的な言い方がなされているものが目立つ。一見軽微な中傷に見えるが、こうした投稿が当事者に及ぼしうる深刻な影響が見過ごされてはならない。さらには、最近のいじめの特徴としていじめる側といじめられる側が頻繁に入れ替わることがあると指摘されており、いじめについて書いた者が非難され、次にはいじめの対象になるという可能性もある。

また、誹謗中傷についても、「喧嘩上等」のような一言が、他の学校の生徒からの反発を呼んで大人数を巻き込む抗争につながる事例がある。こうした投稿は、どこの学校に通う何年生なのか等、投稿者を特定する情報とつながることによって大きな問題となりうる。すなわち、**プロフィールやSNS等で投稿者の背景がある程度わかる状況でなされる誹謗中傷投稿には、特に注意が必要である。**

不適切行為や違法・犯罪がいじめや誹謗中傷につながる可能性も、考慮される必要がある。飲酒、喫煙、万引き等の経験について投稿した者が、ネット上で集中的に攻撃され、いわゆる「炎上」の状態に陥ることは珍しくない。実名や住所、電話番号等を書かれ、写真が掲載されることも考えられる。事態が深刻化して転校したとしても、コミュニティサイトで転校前の学校の生徒と転校後の学校の生徒とが連絡を取り、転校後にも攻撃が続く可能性もある。

不特定多数が投稿するコミュニティサイトにおいて、他人を非難する投稿を完全に排除することは困難であろう。しかし、誹謗中傷等の投稿が放置されれば、サイト雰囲気はその種の投稿を容認するように感じられてしまい、青少年が誹謗中傷等の投稿をすることが助長される可能性はある。逆に、他人を非難する投稿はまずいという雰囲気が感じられれば、誹謗中傷等の投稿が抑止される可能性がある。運営側で監視やサイトのデザインを通して**誹謗中傷等を許さない雰囲気を作り出し、利用者がそれに応えて配慮した投稿をすることで、誹謗中傷等の投稿をある程度排除できる状況をつくりだせる**であろう。

人気の高いサイトから誹謗中傷等の投稿が排除されると、そうした投稿をしようとする者が別のサイトに移る可能性は否定できない。このことを完全にな

くすことは困難であろうが、問題あるサイトの利用がしづらい状況をつくりだすことは目指されてよい。

#### (4) 今後の対策に向けて

以上の考察を踏まえ、今後の対策のあり方について今回の調査からどのような示唆が得られるか、検討していこう。

##### ①サイトによる監視とフィルタリング

インターネットは自己責任で利用すべきものと考えられることが多いが、少なくとも青少年の利用に関して、完全に自己責任での利用を前提とすることは非現実的である。青少年の中には不特定多数の者とのかかわりに関する常識を持っていない者がかなりいると考える必要がある上、コミュニティサイト利用に必要なスキルは実際にサイトを利用しなければ身につけることが難しく、常に初心者が多いと考えなくてはならない。青少年の利用を前提とするのであれば、サイト側で監視をする等して、未熟な利用者が深刻なトラブルに遭わない環境をつくり、保持しなければならない。

すでに、青少年の利用者が多いサイトの多くが、青少年が安全に利用できるようにするための取り組みを進めている。特に、モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（EMA）発足後は、EMA が定めた基準が安全なサイト運営のための一つの目安となり、多くのサイトが EMA 認定を目指すことによって運営体制を整えている。今回の調査においても、一定の方針で監視等を行っているサイトでは、問題のある投稿が非常に少ないことが確認されており、サイト側の努力が安全な環境づくりにつながっていることがうかがわれる。

ただし、努力を進めているサイトに関しても、以下のように残された問題がある。

第一に、年齢確認の問題である。現状では利用者の年齢確認は基本的に自己申告によっており、成人年齢で青少年が登録したり、成人が中高生の年齢で登録したりといったことが容易に行われてしまう。これでは、年齢が低い利用者を犯罪やトラブルから守れるとは言い難い。少なくとも、18歳以上か否かをかなり確実に確認できるしくみが必要であろう。一部の SNS ではフィルタリング利用の有無を機械的に判定し、フィルタリング利用者には18歳未満相当のサービスを提供する措置をとっている。フィルタリングの普及が前提となるものの、こうした策が今後さらに検討される必要がある。

第二に、個人間で使われるメッセージに関わる問題である。今回の調査では、

SNSで携帯電話番号やメールアドレス等を書いている投稿が非常に少なかったが、これらのサイトで使われている個人間のメッセージ（いわゆるミニメール）については調査の対象としていない。公開の投稿で仲良くなった後、個人間のメッセージで連絡先を伝え合い、実際に会って福祉犯事件となる場合があり、個人間のメッセージが事件やトラブルにつながることを懸念される。サイト側で個人間のメッセージを監視することが法的に認められるか否かについては議論があるが、仮に監視をしないとしても、**青少年には個人間メッセージを利用させない等の策がなければ、SNSが福祉犯事件に使われることを抑止することは困難であろう。**

第三に、自傷や自殺を含む投稿の問題である。監視が徹底しているサイトでも、この種の投稿が多く見られる場合があった。**自傷や自殺について書くこと自体は否定されるべきではないが、この種の発言にどのように対応すべきかについては検討が必要である。**こうした発言をする者の中には深刻な問題を抱えている者が多いと考えられ、書くことによって救われている部分もあるであろう。他方、なんらかの救いを求めて書き込んでいる場合もあると考えられるのであり、サイトの中にわかりやすく適切な相談場所が示されていれば、救われる利用者が多くなる可能性がある。他方、自傷や自殺の発言が放置されれば、悪意ある者に狙われ、福祉犯や詐欺、あるいはカルトへの勧誘等の被害に遭う恐れがある。この種の投稿への対応については、今後も検討が必要である。

他方、今回の調査では、青少年に人気の高いサイトの中に、監視が徹底されていないサイトがあることが確認された。**プロフィールや掲示板のサイトの中に、電話番号やメールアドレス等の掲載、出会い行為誘引や誹謗中傷を含むといった問題のある投稿を放置しているサイトがあったことは深刻な問題である。**特にプロフィールに関しては、サイトの性質上、利用者が顔写真や学校名や連絡先を積極的に書くことが多くなり、監視が徹底されなければ危険性が非常に高くなる。青少年がこうしたサイトに安易にアクセスすることは、避けられなければならない。逆に、人気の高いサイトが徹底した対策をとることで、コミュニティサイトをめぐる問題のかなりの部分が解決できるとも言え、サイト運営事業者の努力を求めたい。

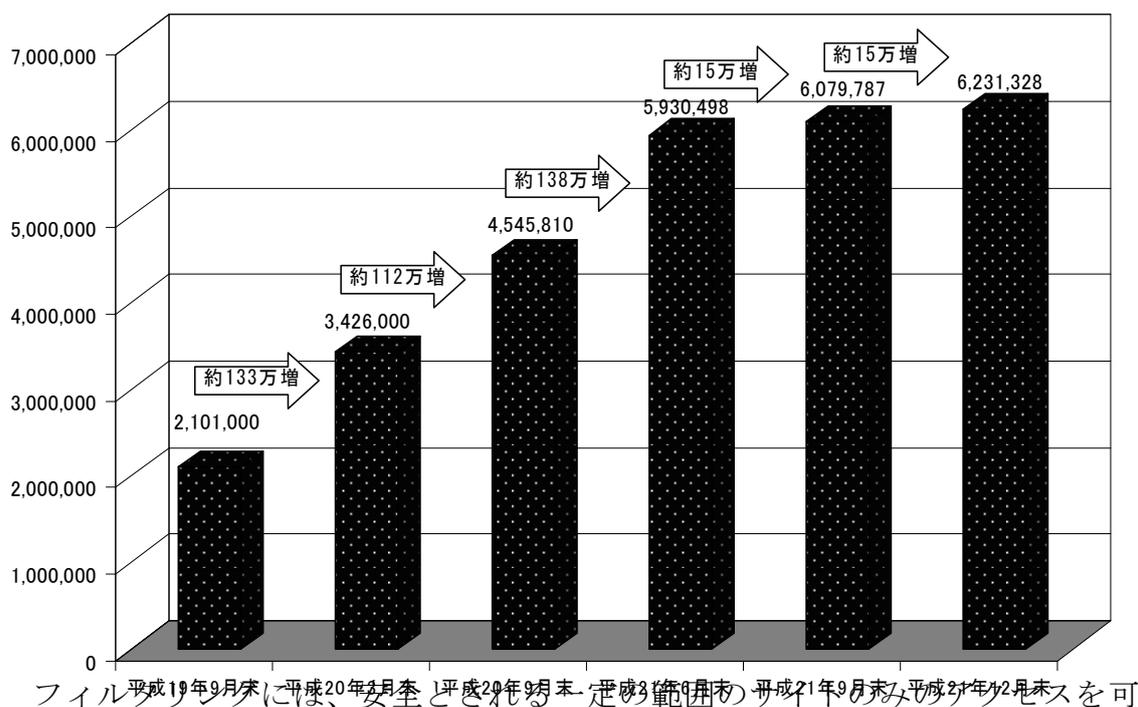
こうした状況をふまえれば、携帯電話について利用者が18歳以上であるか否かの年齢確認を徹底し、18歳未満の利用者が原則としてフィルタリングに加入することによって、コミュニティサイトをめぐる問題が大きく改善に向かうことが期待できる。

携帯電話の年齢確認に関しては、携帯電話事業者の取り組みは非常に遅れている。携帯電話事業者は従来、契約名義人のデータのみを記録していたが、青少年が利用する携帯電話のかなり多くが保護者名義で契約されており、青少年

の利用者を把握することはほとんどできていなかった。その後、各事業者が青少年が利用する端末には原則としてフィルタリング加入とする策を打ち出し、平成21年に青少年インターネット環境整備法が施行されて保護者も青少年の利用について申し出ることが求められるようになり、青少年の利用についての確認は進みつつある。今後さらに徹底して、利用者が18歳未満か否かを確認することが求められる。

フィルタリングについては、平成17年に総務大臣から携帯電話事業者に要請が出されて以降、青少年への普及が拡大している（図38 携帯電話・PHS事業者各社のフィルタリングサービス利用者数実績）。フィルタリングに加入すると安全なサイトへのアクセスもできなくなるという批判があったが、一部の携帯電話事業者が特定のサイトや特定の種類のサイトへのアクセスを保護者の判断でアクセス可にしたりアクセス不可にしたりする「カスタマイズ」サービスの提供を開始したり、高校生程度を対象としてアクセス不可の範囲を狭くしたフィルタリングを提供したりと、使い勝手の改善がはかられている。また、一部の事業者を除いて通話のみの契約や通話とメールのみといった契約が可能となり、一部の事業者ではインターネットサイト接続可能な時間を制限するサービスが提供される等、保護者の選択によってさまざまに利用形態を制限することが可能となっている。

図38 携帯電話・PHS事業者各社のフィルタリングサービス利用者数実績  
（社団法人電気通信事業者協会発表資料より作成）

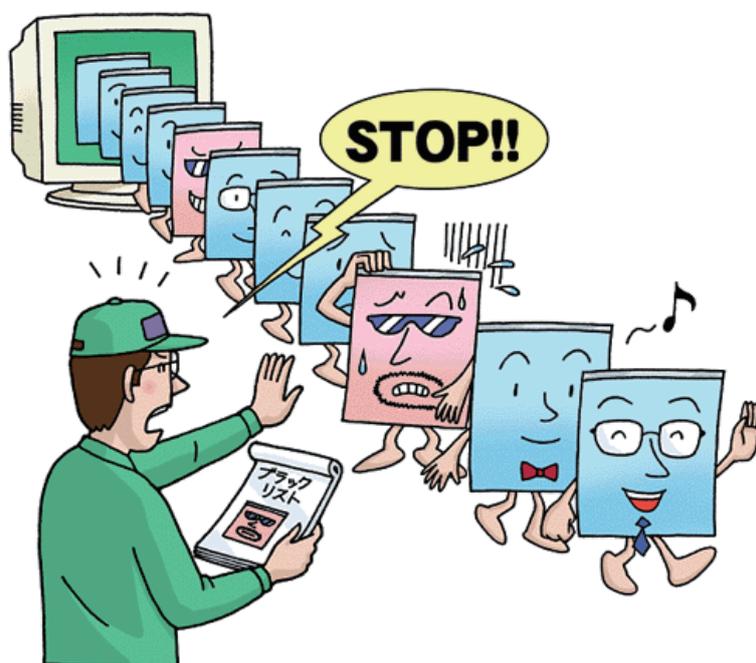


能とする「ホワイトリスト方式（図 39 フィルタリング（ホワイトリスト方式））」と、青少年の利用にはふさわしくないと判断される種類のサイトへのアクセスを不可とする「ブラックリスト方式（図 40 フィルタリング（ブラックリスト方式））」とがあり、主要な事業者は両方のサービスを提供している。そして、保護者から特に申し出がない場合には、青少年が利用する携帯電話にはブラックリスト方式のサービスが適用される。この場合、コミュニティサイトへのアクセスは原則として不可となるが、EMA 認定サイトのみアクセス可となる。このため、保護者が特に希望しない場合には、問題のある投稿が多いサイトにはアクセス不可となり、監視が一定の水準に達しているサイトにはアクセス可となる。この種のフィルタリングの普及によって、コミュニティサイト利用に関する危険性の多くが除去できると言える。

図 39 フィルタリング（ホワイトリスト方式）



図 40 フィルタリング（ブラックリスト方式）



ただし、ブラックリスト方式のフィルタリングでアクセス可となる EMA 認定のコミュニティサイトに関しても、注意を要する投稿や問題のある投稿が皆無というわけではない。そして、すでに述べたように、監視が徹底しているサイトにも課題は残されている。青少年であってもコミュニティサイトを利用するには、ある程度の利用能力（メディアリテラシー）が求められるのは当然である。学校や家庭で青少年のメディアリテラシーを向上させる努力は不可欠であり、メディアリテラシーが足りないと考えられる青少年にはコミュニティサイトの利用は時期尚早と考える必要がある。今後の方向として、たとえばメディアリテラシーに関わる検定のうち一定の基準を満たすものを携帯電話事業者が認定し、認定済みの検定に合格した者はブラックリスト方式、他の者はホワイトリスト方式もしくはサイト利用不可というように、**利用者のメディアリテラシーに応じたフィルタリングの提供も検討されてよいであろう。**

以上のようにフィルタリング普及の徹底は重要な課題であるが、従来のように携帯電話事業者を中心としたフィルタリング普及だけでは不十分となりつつある。PC を利用したインターネット利用の場合には携帯電話事業者の関与がないことに加え、最近ではゲーム機や各種情報端末が無線 LAN 等によるインターネット接続に対応している。携帯電話でも、いわゆるスマートフォンとして無線 LAN に対応し、携帯電話事業者のサーバを通さずに通信できるものがある。

また、インターネットに接続せずに端末相互に無線を介してメッセージの送受信ができるものも出てきている。今後、こうした多様な端末によって青少年が情報発信することがおおくなると考えられ、携帯電話事業者によるフィルタリングだけでなく、無線端末に関わる事業者が連携してフィルタリングの推進等に取り組む必要がある。

## ②メディアリテラシーを向上のための教育・啓発

今回の調査でも確認されたように、監視が一定以上の水準にあるコミュニティサイトでも、注意を要する投稿や問題のある投稿が皆無であるわけではない。コミュニティサイトを利用する場合には、攻撃されたり騙されたりすることに対して、ある程度は自らを守ることができる必要がある。

もちろん、自らを守ることができない者にはコミュニティサイトを使わせないという考え方はありうる。未熟すぎる青少年にあえてコミュニティサイトを使わせる必要はなく、保護者の判断で携帯電話を利用させない、サイトへのアクセスを禁じる措置をとるといったことは当然考えられる。

しかし、当面コミュニティサイトを使わせないとしても、高度情報社会を生きていくはずの子どもたちのメディアリテラシーを向上させることは必要である。

学校においては、新しい学習指導要領で情報モラル教育が重視されており、各教科、総合的な学習の時間、道徳等を通じて、メディアリテラシー向上につながる指導を進めることが求められる。ネット安全安心全国推進会議がリーフレット「ちょっと待って、ケータイ」（文部科学省 HP からダウンロード可能）やDVD「ちょっと待って、ケータイ」「ちょっと待って、ケータイ2」（エルネット（文部科学省教育情報通信ネットワーク）より視聴可能）を配布していることをはじめ、放送局、出版社、非営利団体等がさまざまな教材を開発している。事業者やNPOが学校への講師派遣を行っている場合もある。今後、これらの内容や手法を比較検討しつつ、どのようなものが望ましいのかについて検討を重ね、全国の学校で、メディアリテラシーの向上に資する情報モラル教育が適切に推進されることが求められる。

事業者においては、携帯電話契約時やサイト利用時に利用者や保護者に対して必要な情報を提供し、注意を喚起する等して、教育・啓発への貢献を目指すべきである。すでにさまざまな取り組みがなされているが、実効性を高めるために、今後も改善していくことが必要だ。

さらに、家庭や地域で青少年と関わる大人がメディアに関する問題についての理解を深め、適切に青少年への指導ができるよう環境を整える必要がある。

### ③本調査の成果と課題

今回の調査によって、青少年のコミュニティサイト利用に関して、主に以下のことが明らかになった。

- ・青少年のコミュニティサイト利用に関する問題が見られるサイトは、学校非公式サイト（学校裏サイト）として注目された掲示板型のサイトから、プロフやSNSに移行している。
- ・青少年に人気があるコミュニティサイトの状況はサイトによって多様であり、特定のサイトに特定の種類の注意を要する投稿や問題のある投稿が集中している場合が多い。特に、プロフや掲示板で、監視が不十分と考えざるをえないものが見られた。
- ・監視が徹底していると考えられるサイトでも、自傷や自殺に関する投稿は削除されていない場合が多い。

今後の課題として、以下の点が挙げられる。

- ・今回は青少年の側の投稿を調査したが、青少年を狙う大人の投稿についての調査がなされれば、さらに青少年が事件やトラブルに遭うことを防ぐために必要な知見が得られると考えられる。
- ・今回の調査で各サイトの状況はある程度明らかになったが、どのようなサイトのどのような投稿が事件やトラブルに結びつくかは明らかになっていない。事件事例に関して、加害者や被害者のネット利用の状況を明らかにする必要がある。
- ・注意を要する投稿や問題のある投稿をさせないようにするために、どのような教育が必要なのか、メディアリテラシー向上のみでよいのか、コミュニケーション全般やモラル全般に関わる問題なのか、他の取り組みも必要なのか等を明らかにし、実効性のある教育を進めていく必要がある。

これらの課題は、文部科学省あるいはネット安全安心全国推進会議のみによって解決すべきものではない。警察庁や内閣府、総務省、経済産業省、事業者、学識経験者等、幅広い関係者が連携して解明に取り組むべきものである。

付録

アンケート調査結果

クロス集計

サイト名×総検出投稿 全件

サイト名(仮称)	サイト種別	総検出投稿件数	総検出投稿(%)
サイト A	プロフィール	2,003 件	26.3%
サイト B	プロフィール	1,937 件	25.4%
サイト C	ゲーム・SNS	970 件	12.7%
サイト D	プロフィール	651 件	8.5%
サイト E	ゲーム・SNS	475 件	6.2%
サイト F	掲示板	398 件	5.2%
サイト G	リアル	189 件	2.5%
サイト H	HP 作成サービス	259 件	3.4%
サイト I	ゲーム・SNS	201 件	2.6%
サイト J	リアル	91 件	1.2%
サイト K	掲示板	89 件	1.2%
サイト L	ブログ	35 件	0.5%
サイト M	掲示板	49 件	0.6%
サイト N	掲示板	35 件	0.5%
サイト O	掲示板	26 件	0.3%
サイト P	ブログ	26 件	0.3%
サイト Q	掲示板	27 件	0.4%
サイト R	掲示板	35 件	0.5%
サイト S	掲示板	20 件	0.3%
サイト T	HP 作成サービス	18 件	0.2%
その他サイト		93 件	1.2%
総計		7,627 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 全件

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	209 件	10.4%
サイト B	プロフィール	519 件	25.8%
サイト C	ゲーム・SNS	125 件	6.2%
サイト D	プロフィール	144 件	7.2%
サイト E	ゲーム・SNS	315 件	15.6%
サイト F	掲示板	227 件	11.3%
サイト G	リアル	48 件	2.4%
サイト H	HP 作成サービス	92 件	4.6%
サイト I	ゲーム・SNS	145 件	7.2%
サイト J	リアル	19 件	0.9%
サイト K	掲示板	27 件	1.3%
サイト L	ブログ	25 件	1.2%
サイト M	掲示板	4 件	0.2%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	10 件	0.5%
サイト P	ブログ	22 件	1.1%
サイト Q	掲示板	15 件	0.7%
サイト R	掲示板	19 件	0.9%
サイト S	掲示板	11 件	0.5%
サイト T	HP 作成サービス	14 件	0.7%
その他サイト		23 件	1.1%
総計		2,013 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 違法・犯罪行為

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	7 件	5.4%
サイト B	プロフィール	13 件	10.1%
サイト C	ゲーム・SNS	45 件	34.9%
サイト D	プロフィール	25 件	19.4%
サイト E	ゲーム・SNS	6 件	4.7%
サイト F	掲示板	4 件	3.1%
サイト G	リアル	6 件	4.7%
サイト H	HP 作成サービス	8 件	6.2%
サイト I	ゲーム・SNS	7 件	5.4%
サイト J	リアル	2 件	1.6%
サイト K	掲示板	2 件	1.6%
サイト L	ブログ	0 件	0.0%
サイト M	掲示板	2 件	1.6%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	0 件	0.0%
サイト Q	掲示板	0 件	0.0%
サイト R	掲示板	0 件	0.0%
サイト S	掲示板	1 件	0.8%
サイト T	HP 作成サービス	0 件	0.0%
その他サイト		1 件	0.8%
総計		129 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 いじめ

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	1 件	0.5%
サイト B	プロフィール	0 件	0.0%
サイト C	ゲーム・SNS	16 件	8.4%
サイト D	プロフィール	0 件	0.0%
サイト E	ゲーム・SNS	4 件	2.1%
サイト F	掲示板	53 件	27.7%
サイト G	リアル	14 件	7.3%
サイト H	HP 作成サービス	7 件	3.7%
サイト I	ゲーム・SNS	35 件	18.3%
サイト J	リアル	3 件	1.6%
サイト K	掲示板	12 件	6.3%
サイト L	ブログ	4 件	2.1%
サイト M	掲示板	2 件	1.0%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	10 件	5.2%
サイト P	ブログ	1 件	0.5%
サイト Q	掲示板	8 件	4.2%
サイト R	掲示板	17 件	8.9%
サイト S	掲示板	2 件	1.0%
サイト T	HP 作成サービス	1 件	0.5%
その他サイト		1 件	0.5%
総計		191 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 自傷

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	143 件	27.7%
サイト B	プロフィール	1 件	0.2%
サイト C	ゲーム・SNS	25 件	4.8%
サイト D	プロフィール	5 件	1.0%
サイト E	ゲーム・SNS	204 件	39.5%
サイト F	掲示板	0 件	0.0%
サイト G	リアル	13 件	2.5%
サイト H	HP 作成サービス	32 件	6.2%
サイト I	ゲーム・SNS	44 件	8.5%
サイト J	リアル	2 件	0.4%
サイト K	掲示板	2 件	0.4%
サイト L	ブログ	12 件	2.3%
サイト M	掲示板	0 件	0.0%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	13 件	2.5%
サイト Q	掲示板	0 件	0.0%
サイト R	掲示板	0 件	0.0%
サイト S	掲示板	3 件	0.6%
サイト T	HP 作成サービス	7 件	1.4%
その他サイト		11 件	2.1%
総計		517 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 自殺

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	2 件	1.0%
サイト B	プロフィール	1 件	0.5%
サイト C	ゲーム・SNS	32 件	15.8%
サイト D	プロフィール	1 件	0.5%
サイト E	ゲーム・SNS	72 件	35.5%
サイト F	掲示板	3 件	1.5%
サイト G	リアル	3 件	1.5%
サイト H	HP 作成サービス	39 件	19.2%
サイト I	ゲーム・SNS	31 件	15.3%
サイト J	リアル	1 件	0.5%
サイト K	掲示板	0 件	0.0%
サイト L	ブログ	7 件	3.4%
サイト M	掲示板	0 件	0.0%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	2 件	1.0%
サイト Q	掲示板	1 件	0.5%
サイト R	掲示板	0 件	0.0%
サイト S	掲示板	1 件	0.5%
サイト T	HP 作成サービス	5 件	2.5%
その他サイト		2 件	1.0%
総計		203 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 出会い行為

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	14 件	8.2%
サイト B	プロフィール	43 件	25.1%
サイト C	ゲーム・SNS	1 件	0.6%
サイト D	プロフィール	27 件	15.8%
サイト E	ゲーム・SNS	7 件	4.1%
サイト F	掲示板	73 件	42.7%
サイト G	リアル	0 件	0.0%
サイト H	HP 作成サービス	0 件	0.0%
サイト I	ゲーム・SNS	1 件	0.6%
サイト J	リアル	0 件	0.0%
サイト K	掲示板	2 件	1.2%
サイト L	ブログ	1 件	0.6%
サイト M	掲示板	0 件	0.0%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	0 件	0.0%
サイト Q	掲示板	1 件	0.6%
サイト R	掲示板	0 件	0.0%
サイト S	掲示板	0 件	0.0%
サイト T	HP 作成サービス	0 件	0.0%
その他サイト		1 件	0.6%
総計		171 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 携帯番号

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	3 件	1.8%
サイト B	プロフィール	145 件	86.3%
サイト C	ゲーム・SNS	0 件	0.0%
サイト D	プロフィール	2 件	1.2%
サイト E	ゲーム・SNS	0 件	0.0%
サイト F	掲示板	9 件	5.4%
サイト G	リアル	1 件	0.6%
サイト H	HP 作成サービス	3 件	1.8%
サイト I	ゲーム・SNS	0 件	0.0%
サイト J	リアル	1 件	0.6%
サイト K	掲示板	0 件	0.0%
サイト L	ブログ	0 件	0.0%
サイト M	掲示板	0 件	0.0%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	0 件	0.0%
サイト Q	掲示板	1 件	0.6%
サイト R	掲示板	1 件	0.6%
サイト S	掲示板	0 件	0.0%
サイト T	HP 作成サービス	1 件	0.6%
その他サイト		1 件	0.6%
総計		168 件	100%

サイト名×問題のある投稿件数 メールアドレス等

サイト名(仮称)	サイト種別	問題のある投稿件数	問題のある投稿(%)
サイト A	プロフィール	39 件	6.2%
サイト B	プロフィール	316 件	49.8%
サイト C	ゲーム・SNS	6 件	0.9%
サイト D	プロフィール	84 件	13.2%
サイト E	ゲーム・SNS	22 件	3.5%
サイト F	掲示板	85 件	13.4%
サイト G	リアル	11 件	1.7%
サイト H	HP 作成サービス	3 件	0.5%
サイト I	ゲーム・SNS	27 件	4.3%
サイト J	リアル	10 件	1.6%
サイト K	掲示板	9 件	1.4%
サイト L	ブログ	1 件	0.2%
サイト M	掲示板	0 件	0.0%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	6 件	0.9%
サイト Q	掲示板	4 件	0.6%
サイト R	掲示板	1 件	0.2%
サイト S	掲示板	4 件	0.6%
サイト T	HP 作成サービス	0 件	0.0%
その他サイト		6 件	0.9%
総計		634 件	100%

サイト名×注意を要する投稿 全件

サイト名(仮称)	サイト種別	注意を要する投稿件数	注意を要する投稿(%)
サイト A	プロフィール	1,794 件	32.0%
サイト B	プロフィール	1,418 件	25.3%
サイト C	ゲーム・SNS	845 件	15.1%
サイト D	プロフィール	507 件	9.0%
サイト E	ゲーム・SNS	160 件	2.9%
サイト F	掲示板	171 件	3.0%
サイト G	リアル	141 件	2.5%
サイト H	HP 作成サービス	167 件	3.0%
サイト I	ゲーム・SNS	56 件	1.0%
サイト J	リアル	72 件	1.3%
サイト K	掲示板	62 件	1.1%
サイト L	ブログ	10 件	0.2%
サイト M	掲示板	45 件	0.8%
サイト N	掲示板	35 件	0.6%
サイト O	掲示板	16 件	0.3%
サイト P	ブログ	4 件	0.1%
サイト Q	掲示板	12 件	0.2%
サイト R	掲示板	16 件	0.3%
サイト S	掲示板	9 件	0.2%
サイト T	HP 作成サービス	4 件	0.1%
その他サイト		70 件	1.2%
総計		5,614 件	100%

サイト名×注意を要する投稿件数 個人情報の掲載

サイト名(仮称)	サイト種別	注意を要する投稿件数	注意を要する投稿(%)
サイト A	プロフィール	1,498 件	39.1%
サイト B	プロフィール	1,056 件	27.6%
サイト C	ゲーム・SNS	670 件	17.5%
サイト D	プロフィール	100 件	2.6%
サイト E	ゲーム・SNS	124 件	3.2%
サイト F	掲示板	83 件	2.2%
サイト G	リアル	9 件	0.2%
サイト H	HP 作成サービス	92 件	2.4%
サイト I	ゲーム・SNS	5 件	0.1%
サイト J	リアル	3 件	0.1%
サイト K	掲示板	6 件	0.2%
サイト L	ブログ	8 件	0.2%
サイト M	掲示板	36 件	0.9%
サイト N	掲示板	35 件	0.9%
サイト O	掲示板	8 件	0.2%
サイト P	ブログ	4 件	0.1%
サイト Q	掲示板	11 件	0.3%
サイト R	掲示板	16 件	0.4%
サイト S	掲示板	8 件	0.2%
サイト T	HP 作成サービス	2 件	0.1%
その他サイト		53 件	1.4%
総計		3,827 件	100%

サイト名×注意を要する投稿件数 不適切行為

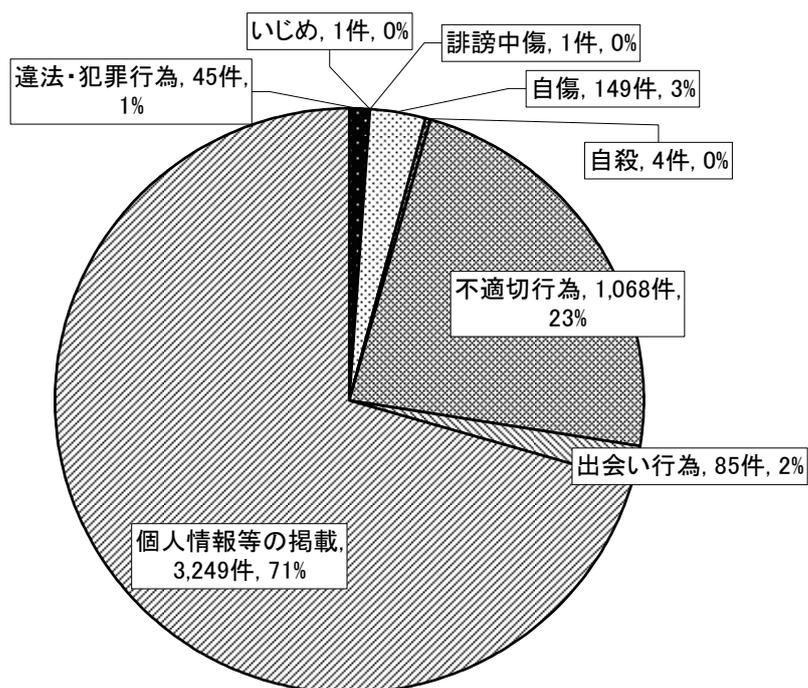
サイト名(仮称)	サイト種別	注意を要する投稿件数	注意を要する投稿(%)
サイト A	プロフィール	296 件	17.8%
サイト B	プロフィール	362 件	21.7%
サイト C	ゲーム・SNS	163 件	9.8%
サイト D	プロフィール	406 件	24.4%
サイト E	ゲーム・SNS	36 件	2.2%
サイト F	掲示板	81 件	4.9%
サイト G	リアル	117 件	7.0%
サイト H	HP 作成サービス	69 件	4.1%
サイト I	ゲーム・SNS	46 件	2.8%
サイト J	リアル	65 件	3.9%
サイト K	掲示板	4 件	0.2%
サイト L	ブログ	2 件	0.1%
サイト M	掲示板	1 件	0.1%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	0 件	0.0%
サイト P	ブログ	0 件	0.0%
サイト Q	掲示板	0 件	0.0%
サイト R	掲示板	0 件	0.0%
サイト S	掲示板	0 件	0.0%
サイト T	HP 作成サービス	2 件	0.1%
その他サイト		15 件	0.9%
総計		1,665 件	100%

サイト名×注意を要する投稿件数 誹謗中傷

サイト名(仮称)	サイト種別	注意を要する投稿件数	注意を要する投稿(%)
サイト A	プロフィール	0 件	0.0%
サイト B	プロフィール	0 件	0.0%
サイト C	ゲーム・SNS	12 件	9.8%
サイト D	プロフィール	1 件	0.8%
サイト E	ゲーム・SNS	0 件	0.0%
サイト F	掲示板	7 件	5.7%
サイト G	リアル	15 件	12.3%
サイト H	HP 作成サービス	6 件	4.9%
サイト I	ゲーム・SNS	5 件	4.1%
サイト J	リアル	4 件	3.3%
サイト K	掲示板	52 件	42.6%
サイト L	ブログ	0 件	0.0%
サイト M	掲示板	8 件	6.6%
サイト N	掲示板	0 件	0.0%
サイト O	掲示板	8 件	6.6%
サイト P	ブログ	0 件	0.0%
サイト Q	掲示板	1 件	0.8%
サイト R	掲示板	0 件	0.0%
サイト S	掲示板	1 件	0.8%
サイト T	HP 作成サービス	0 件	0.0%
その他サイト		2 件	1.6%
総計		122 件	100%

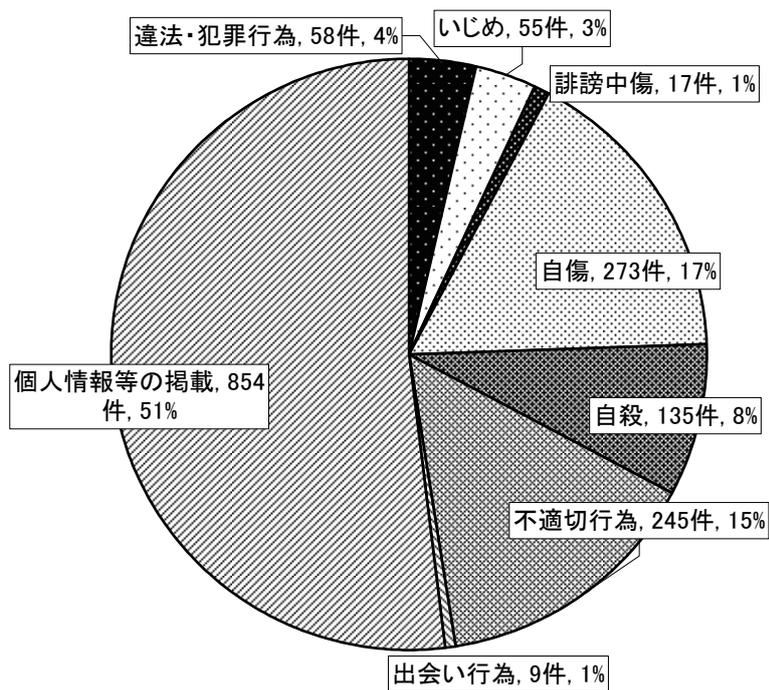
## 投稿分類×プロフィール系サイト投稿件数

投稿分類	プロフィール系サイト	プロフィール系サイト
違法・犯罪行為	45 件	1.0%
いじめ	1 件	0.0%
誹謗中傷	1 件	0.0%
自傷	149 件	3.2%
自殺	4 件	0.1%
不適切行為	1,068 件	23.2%
出会い行為	85 件	1.8%
個人情報等の掲載	3,249 件	70.6%
総計	4,602 件	100.0%



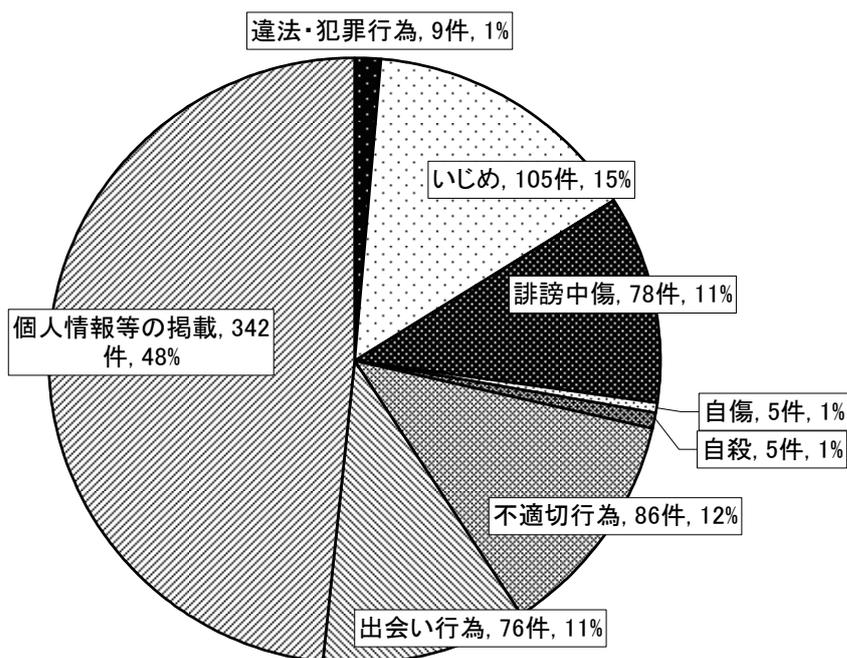
## 投稿分類×ゲーム・SNS系サイト投稿件数

投稿分類	ゲーム・SNS系サイト	ゲーム・SNS系サイト
違法・犯罪行為	58件	3.5%
いじめ	55件	3.3%
誹謗中傷	17件	1.0%
自傷	273件	16.6%
自殺	135件	8.2%
不適切行為	245件	14.9%
出会い行為	9件	0.5%
個人情報等の掲載	854件	51.9%
総計	1,646件	100.0%



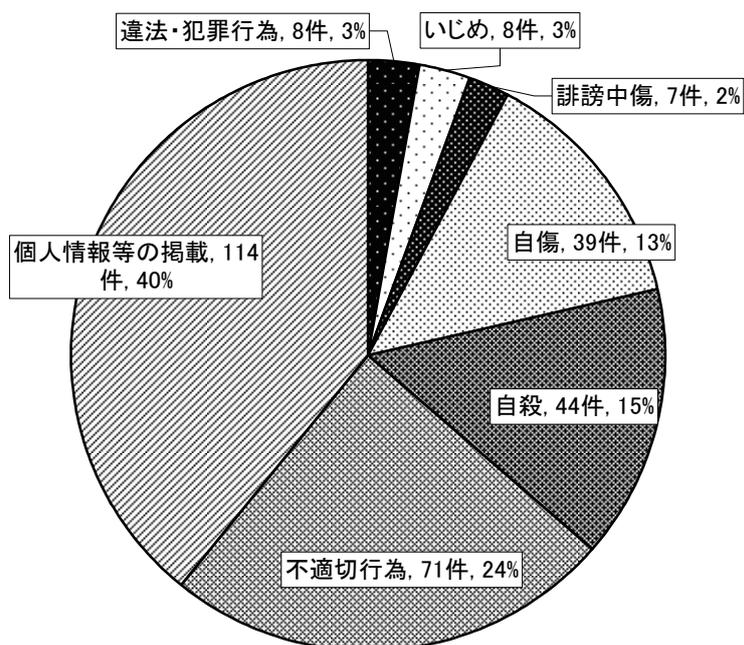
## 投稿分類 × 掲示板サイト 投稿件数

投稿分類	掲示板系サイト	掲示板系サイト
違法・犯罪行為	9 件	1.3%
いじめ	105 件	14.9%
誹謗中傷	78 件	11.0%
自傷	5 件	0.7%
自殺	5 件	0.7%
不適切行為	86 件	12.2%
出会い行為	76 件	10.8%
個人情報等の掲載	342 件	48.4%
総計	706 件	100.0%



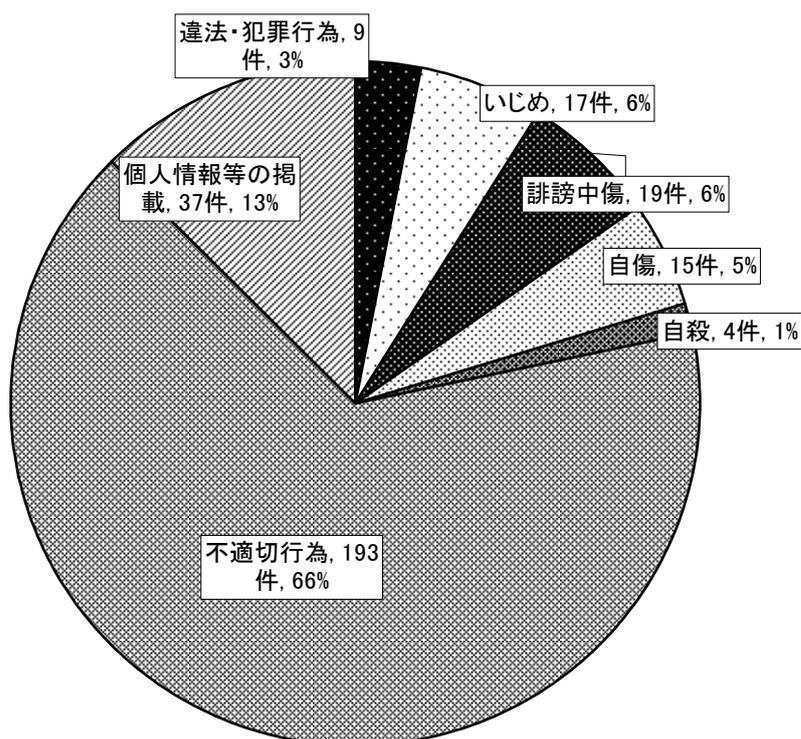
## 投稿分類×HP 作成サービス系サイト投稿件数

投稿分類	HP 作成サービス系サイト	HP 作成サービス系サイト
違法・犯罪行為	8 件	2.7%
いじめ	8 件	2.7%
誹謗中傷	7 件	2.4%
自傷	39 件	13.4%
自殺	44 件	15.1%
不適切行為	71 件	24.4%
出会い行為	0 件	0.0%
個人情報等の掲載	114 件	39.2%
総計	291 件	100.0%



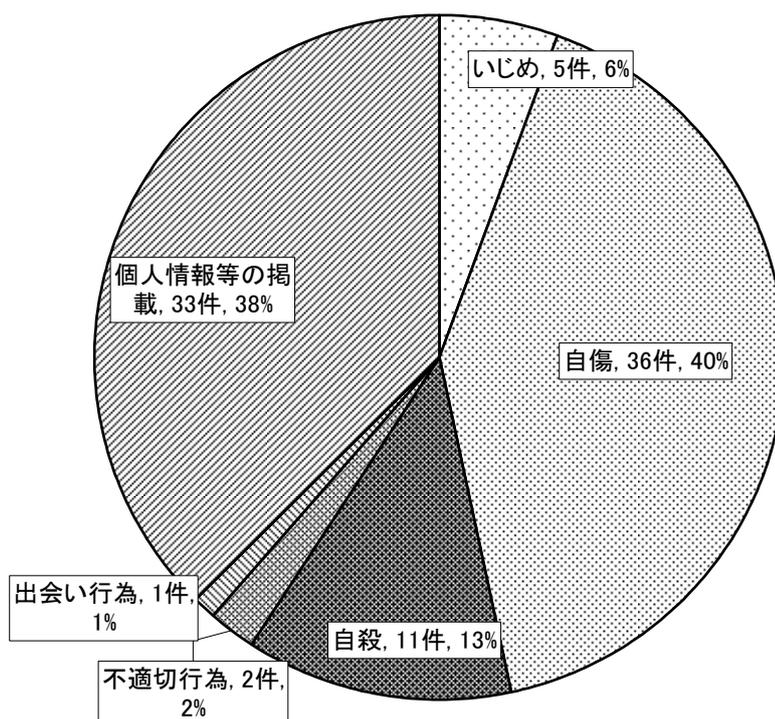
## 投稿分類×リアル系サイト投稿件数

投稿分類	リアル系サイト	リアル系サイト
違法・犯罪行為	9 件	3.1%
いじめ	17 件	5.8%
誹謗中傷	19 件	6.5%
自傷	15 件	5.1%
自殺	4 件	1.4%
不適切行為	193 件	65.6%
出会い行為	0 件	0.0%
個人情報等の掲載	37 件	12.6%
総計	294 件	100.0%



## 投稿分類×ブログ系サイト投稿件数

投稿分類	ブログ系サイト	ブログ系サイト
違法・犯罪行為	0 件	0.0%
いじめ	5 件	5.7%
誹謗中傷	0 件	0.0%
自傷	36 件	40.9%
自殺	11 件	12.5%
不適切行為	2 件	2.3%
出会い行為	1 件	1.1%
個人情報等の掲載	33 件	37.5%
総計	88 件	100.0%



その他、クロス集計

電話番号× 出会い誘引	
サイトF	1
サイトB	26
サイトD	1
合計	28

メールアドレス× 出会い誘引	
サイトF	9
サイトE	3
サイトB	26
サイトD	15
サイトA	3
合計	56

問題のある投稿×顔写真の掲載								
サイト名	顔写真 総数	違法・犯 罪行為	いじめ	自傷	自殺	出会い 行為	携帯番号	メールアド レス等
サイト A	1,062 件	3 件	0 件	34 件	0 件	10 件	3 件	20 件
サイト B	924 件	9 件	0 件	0 件	1 件	31 件	124 件	255 件
サイト C	50 件	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト D	321 件	13 件	0 件	5 件	1 件	20 件	2 件	58 件
サイト E	128 件	2 件	1 件	9 件	12 件	5 件	0 件	10 件
サイト F	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト G	53 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト H	22 件	0 件	0 件	1 件	1 件	0 件	1 件	0 件
サイト I	14 件	0 件	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト J	95 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト K	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト L	40 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト M	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト N	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト O	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト P	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト Q	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト R	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
サイト S	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件
サイト T	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
その他のサイト	70 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	2,781 件	30 件	3 件	51 件	15 件	66 件	130 件	344 件

平成 21 年度 青少年を取り巻く有害環境対策の推進  
青少年が利用するコミュニティサイトに関する実態調査  
報告書

平成 22 (2010) 年 3 月

編集・発行 財団法人インターネット協会  
〒105-0004 東京都港区新橋 3-4-5 新橋フロンティアビル 6 階  
Tel : 03-3500-3351

担当 文部科学省 スポーツ・青少年局青少年課調査係  
〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2  
Tel : 03-5253-4111 [内線 2966]